



ふじのくに
文化教育
プログラム

静岡県の教員の皆様へ

皆様、学校生活の中で児童や生徒に文化芸術の魅力や楽しさを伝えられていますか？

校内の授業で音楽や美術の知識や技巧を教えることは大切ですが、やはり芸術のプロの生きた技やエネルギーに触れ、体感することから得る刺激は格別です。将来プロを目指したり、ファンとして鑑賞を楽しむ人となるきっかけは、本物のプロの技を実際に見た経験が大きな割合を占めるのではないのでしょうか。

最近の子どもたちは、芸術をデジタルで疑似体験できる時代に生きていますが、本当の文化芸術の価値を理解できる感性豊かな人の育成には、五感を使って本物に感動する体験を子どもの頃から提供して、刺激することが欠かせないものと思います。

県の文化機関である県立劇団SPAC、グランシップ、県立美術館、ふじのくに地球環境史ミュージアム、富士山世界遺産センター、埋蔵文化財センターでは、学校の学習プログラムや、休日でも子どもたちが学べる多くのイベントを用意し、本物の経験ができる機会を提供しています。一部の機関では教員から派遣された職員が、学校の支援や活用の営業マンとして活動しています。しかし実際は、特定の先生だけが活用していたり、訪れる学校が毎年決まっていたり、学校教育界全体への普及は不十分だったと反省しています。

そこで、県文化局では、下記のとおり第5期静岡県文化振興基本計画において、県の文化機関が行う学校向け文化体感プログラムを一体化し、「文化教育プログラム」としてまとめ、冊子化(ホームページにも掲載)して、学校現場の皆様にお届けすることといたしました。本書の内容は、各機関が学校向けにお勧めしている内容を簡潔に掲載し、学習への活かし方も紹介しています。

教員の皆様が、本書を有効に活用し、本物の持つ生の文化芸術に触れる感動を貴校の児童、生徒に伝える学習を多くの選択肢の中から選んで頂き、授業や生徒への紹介に活用頂ければ幸いです。

令和5年3月 静岡県理事 渋谷 浩史

「第5期静岡県文化振興基本計画(令和4年3月策定)」抜粋

「ふじのくに文化教育プログラム」の展開

将来の本県を担う子どもたちが、様々な文化芸術に触れることで、豊かな感性や創造性を養うため、第4期計画では「子どもが文化と出会う機会の充実」を重点施策として子ども向け事業を充実させました。結果、県事業だけでも年間約9万人(令和元年度)の子どもに対して実施してきましたが、個別事業ごとに募集、実施することが多く、学校現場への周知が十分に図れず、実施校が偏るなど、まだ活用の余地が十分あります。

本計画では、基本目標で「子どもたちを感性豊かに育み」と掲げ、引き続き、子どもたちの育成に力を入れていきます。

そこで、**子ども向け事業の全てを1つのプログラムとして体系付け、学校に「ふじのくに文化教育プログラム」として届けます。**教員に対して学校カリキュラムの多様な選択肢を示し、また、個人参加事業の児童・生徒の参加勧奨につなげることで、効率的に参加者を増やし、次代の本県の文化芸術を担う人材の育成を学校現場との連携を密にして推進します。

目次

あいさつ	P.01
県有文化施設MAP	P.03
PROGRAM 01	P.04
SPAC-静岡県舞台芸術センター	
PROGRAM 02	P.10
ふじのくに地球環境史ミュージアム	
PROGRAM 03	P.16
静岡県立美術館	
PROGRAM 04	P.22
静岡県富士山世界遺産センター	
PROGRAM 05	P.27
静岡県埋蔵文化財センター	
PROGRAM 06	P.29
静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ	
PROGRAM 07	P.40
子どもが文化と出会う機会創出事業／音楽 地域訪問プログラム	
PROGRAM 08	P.41
静岡国際オペラコンクール 「中学生・高校生オペラ鑑賞教室事業」	
PROGRAM 09	P.42
ふじのくに子ども芸術大学	
PROGRAM 10	P.43
ふじのくに芸術祭 静岡県障害者芸術祭	
施設別一覧	P.44

東静岡周辺地区に集積する「学術・文化・芸術・スポーツ」関連施設



東静岡駅周辺地区から、
日本平周辺地区、さらには三保地区へと繋がる「場の力」

東静岡駅周辺地区

- 日本平周辺地区、さらには三保地区へと繋がる玄関口
- 県を代表する「文化とスポーツの殿堂」にふさわしい
- たがざまいを持った拠点地区

日本平周辺地区

- 世界遺産「富士山」をはじめ、周囲360度を眺望できる名勝日本平
- 静岡大学
- ふじのくに地球環境史ミュージアム
- 有度山山麓に集積する学術・文化・芸術、スポーツ関連施設

三保地区

- 富士山世界文化遺産構成資産としての三保松原の顕著な普遍的価値
- 富士山の雄大な姿の全容を一望。富士山、松原、砂浜が織り成す風致景観



ご案内

公益財団法人静岡県舞台芸術センター (Shizuoka Performing Arts Center : SPAC) は、専用の劇場や稽古場を拠点として、俳優・舞台技術・制作スタッフが活動を行う日本で初めての公立文化事業集団であり、舞台芸術作品の創造・上演とともに、優れた舞台芸術の紹介や舞台芸術家の育成を事業目的としています。1997年から初代芸術総監督鈴木忠志のもとで本格的な活動を開始。

2007年より宮城聡が芸術総監督に就任し、更に事業を発展させています。演劇の創造、上演、招聘活動以外にも、教育機関としての公共劇場のあり方を重視し、中高生鑑賞事業公演や人材育成事業、アウトリーチ活動などを続けています。



アクセス情報

SPAC-静岡県舞台芸術センター

静岡芸術劇場

- 〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2丁目3-1(グランシップ内)
- TEL: 054-203-5730 FAX: 054-203-5732

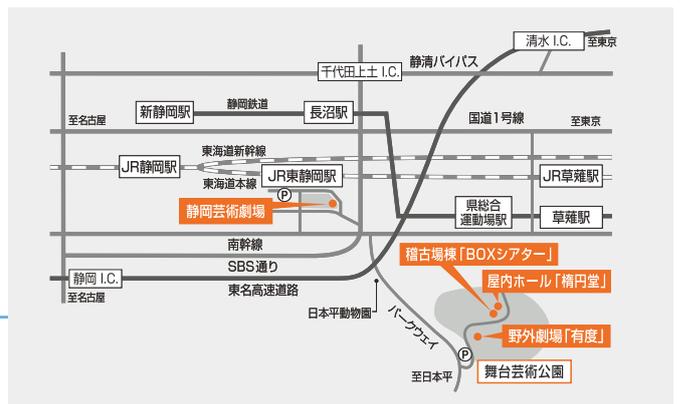
舞台芸術公園

- 〒422-8003 静岡市駿河区平沢100-1
- TEL: 054-208-4008 FAX: 054-208-4014

- E-mail: mail@spac.or.jp
- https://spac.or.jp

@_SPAC_ SPACShizuoka

@spac_shizuoka



本誌掲載の事業以外にも、SPACでは人材育成・アウトリーチ活動を多数行っています。詳細は、SPAC公式HPを御覧ください。

公式HP▶



メッセージ

SPAC芸術総監督 宮城聡から 中高生の皆さんへ

みなさんは、いま自分がどういう時代に生きていると感じていますか？
そう、地域社会が崩壊し、価値観が流動化し、自殺者は増え続け、そして若者は「ひとり遊び」ばかりしていて孤独のなかに閉じこめられている、そういう「精神的危機」の時代に生きている…と感じる人が多いかもしれません。

でも演劇をやっている僕から見ると、すこし違って感じます。なぜなら、演劇は何百年間も、孤独にさいなまれる精神や、なにが正しいのかの基準をなくして迷子になっている精神をえがいてきたからです。

つまりどうやら、世界が人間にとって生き易かったことなど一度もなかったらしいのです。でもそのなかでがむしゃらにあがく人間が、演劇には登場します。がむしゃらにあがく彼らは、しばしば悲しい結末を迎えるし、人間とかこの世というものについてははっきりした解答を出してくれません。ですが、それでも演劇を見るとなんだか励まされる気がします。どうしてでしょう？

きっとそれは彼らが“「わからない」ことに耐える力”を、すこし観客に手渡してくれるからだ、僕は思っています。“「わからない」ことに耐える力”。それは“孤独と向き合う力”でもあります。

人間はいまも昔も孤独です。だから少しでも人とつながるように、一生懸命ことばとからだを研ぎすましてきました。それが演劇です。



宮城 聡 (みやぎさとし)

- 演出家
- SPAC静岡県舞台芸術センター 芸術総監督

中高生舞台芸術鑑賞事業 (SPACeSHIPげきとも!)

スペースシップ

- 参加者募集時期／例年、前年11月頃
- お問い合わせ／TEL：054-203-5735 (SPAC事務局)

学校等団体向け

10月～3月頃

中学生

高校生

特別
支援

鑑賞型

参加
無料

「劇場は世界を見る窓である」

SPAC・静岡県舞台芸術センターでは、この理念のもと、劇場を広義の教育の場と捉え、静岡県内の中高生を対象とした鑑賞事業を続けています。

世界に通用する上質の演劇作品を、ここ静岡でご覧いただける画期的な事業として、県内の学校関係者はもとより、広く全国からの注目を集めています。

- 中高生と引率者の鑑賞料金は無料
- 学校から劇場までのバスのチャーター料金の補助あり
(中学校は全額補助、高校は借上額の1/2かつ1台あたり4万円が上限)

演技の表情が一つ一つきれいで、繊細に表現されていて、まばたきすることさえ忘れるくらい迫力がありました。
(2019年『パール・ギユントたち〜わくばらの夢〜』/高校1年生)



前説の様子

何よりも舞台を生で見ると役者さんの思いやエネルギーをひしひしと感じることが出来る。
(2020年『病は気から』/中学1年生)

子どもが文化と出会う機会創出事業

ひらけ! パフォーミングアーツのとびら

- 実施校募集時期／例年2月頃
- お問い合わせ／TEL：054-203-5730
E-mail：recafe@spac.or.jp

学校等団体向け

6月～翌年3月頃

小学生

中学生

高校生

特別
支援

鑑賞型

参加型

参加
無料

子どもたちの「チカラ」を刺激する体験を

SPACの俳優・スタッフが各学校を訪れ、演劇やダンスといったパフォーミングアーツ(舞台芸術)に触れていただく機会を提供します。

- 参加型／「学ぼう! えんげき教室」
舞台俳優が講師となり「伝えるチカラ」を育むワークショップを、授業の目的、環境、参加者の年齢にあわせて行います。「大きくはっきりした声で堂々と発言できるようになりたい」「表現力を豊かにするには?」「コミュニケーションをとることが苦手…」など児童・生徒が抱える課題に演劇を用いて向き合うプログラムです。

- 参加型／「育てよう! ダンスの種」
コンテンポラリーダンスの自由な発想と広い視野を用いて、各々の身体感覚や思考の違いに目を向け、言葉では表しがたい事柄を直感的に伝える力を育むワークショップです。
決められた振付を覚えて踊るだけではなく、子どもたちのなかに眠っている「身体表現の多様性」「想像/創造する力」に焦点を当てます。

- 鑑賞型／「味わおう! 出前劇場」
迫力満点!プロの俳優による本格的な演劇作品を、学校へお届けします。世界の名作から、その地域に伝わる民話や昔話など、対象学年にあわせた作品を出張上演。



身体表現のような活動は日常の学校生活には少なく、大きな刺激となった。最初はとまどいを見せたが、徐々に自己を解放していく様子が見られ自分のなかの壁を破った生徒が多かった。(中学校教員)

子どもたちにとってわかりやすく取り組みやすいものだった。からだを動かす楽しさをそれぞれが感じていた。自分で動きを考えたり、友達の気持ちを考えて動いたりしながら、自分の良さや友達の良さに気づき、充実した時間になりました。(小学校教員)

生徒は楽しんで見ている様子があり、演者さんに引き込まれている様子だった。(教員)

対話することの楽しさや、表現の仕方など、対話をすることで得られるものがたくさんあることを知ることができて良かった。(教員)

SPAC 1日演劇学校

学校等団体向け

2月頃

中学生 高校生

参加型

参加
無料

やってみて、かんがえて、舞台の奥深さに迫る1日!

県内の中学・高校演劇部員が、それぞれ他校の生徒と交流しながら、SPACの俳優と一緒に、“やってみて、かんがえて”をテーマに舞台の奥深さに迫る講座です。

●プログラム

一限目／劇場や稽古場の見学
二限目／演劇ワークショップ

●参加者募集時期／例年1月～2月頃

●お問い合わせ／TEL：054-203-5730 E-mail：mail@spac.or.jp



基礎を1から見直すいい機会になりました。コロナ禍でなかなか観劇に行けないのでプロの俳優さんの身体表現が参考になりました。(高校生)

放課後えんげき教室

学校等団体向け

6月～翌年3月頃

小学生

特別
支援

鑑賞型

参加型

参加
無料

こどもたちが、舞台芸術に触れる

「放課後こども教室」や「放課後児童クラブ」において、子どもたちの活動の充実を図ることを目的に、SPACの俳優・スタッフが演劇の上演やワークショップを実施します。

楽器やリズム遊びが盛り沢山でユーモアがあり、不思議な世界にあっていう間に入り込んでしまいました。(児童クラブ指導員)



放課後えんげき教室 『音芝居』上演 @船越児童クラブ (撮影/中尾栄治)

●実施校募集時期／例年2月頃

●お問い合わせ／TEL：054-203-5730 E-mail：recafe@spac.or.jp

YouTube教科書朗読

学校等団体・個人向け

通年

小学生

中学生

高校生

特別
支援

鑑賞型

参加
無料

噂のSPAC俳優が教科書朗読に挑戦!

～こいつら本気だ～

県内の小・中・高校で使用されている国語の教科書の掲載作品をSPAC俳優が朗読、その動画をYouTubeで無料配信しています。

授業の一環としての利用をはじめ、部活動の練習教材等としてご活用ください。

●作品例

宮沢賢治作／『永訣の朝』『注文の多い料理店』『やまなし』
芥川龍之介作／『蜘蛛の糸』『トロッコ』『羅生門』
夏目漱石作／『こころ』『夢十夜』／太宰治作：『走れメロス』

●申し込み不要

●<http://www.youtube.com/@spacreading2765>



登場人物の揺れ動く内面が、朗読を通して繊細に表現されていて、聞き入ってしまった。(教員)

新しい単元の導入時に使用し、良い形で入れた。(教員)

SPAC演劇アカデミー

●参加者募集時期／例年2月頃
●お問い合わせ／TEL：054-203-5730 E-mail：academy@spac.or.jp

個人向け

通年

高校生

参加型

参加
無料

世界にはばたけ、Teenagers!

2021年度に開校した<世界で活躍できる演劇人>を目指す若者の感性を育むことを目的とした高校生対象の1年制の演劇塾です。劇場に通いながら、SPACの創作現場の“熱”をじかに感じられる環境の中で、少数精鋭の高校生たちが切磋琢磨する——そんな場をつくります。SPACの俳優・スタッフらによる指導のもとで演劇を学び、名作戯曲の上演に向けての稽古に取り組むと同時に、教養・英語・小論文の学習にも力を入れ、思考力・対話力を身につけていきます。

自分にとってアカデミーは宝宝箱のようなもの。活動、講師からの言葉、アカデミーで過ごす1秒1秒が貴重なものだった。頭の中の扉がいくつも開いて、人生が変わった。(高校2年生/女子)

講師の言葉がヤスリみたいに、自分の「考える」という宝石を磨いてくれた気がする。経験を活かして、この先も自分が崩れてしまわないように生きていきたい。(高校1年生/男子)

知識や技術といった基礎能力はもちろん、1つの目標に皆で向かっていくことの尊さを学んだ。(高校2年生/女子)



実技の様子



集中講習での小論文の様子

異才・天才・奇才 SPACこども大会

●参加者募集時期／例年1月頃
●お問い合わせ／TEL：054-203-5730 E-mail：kodomotaikai@spac.or.jp

個人向け

3月頃

小学生

特別
支援

参加型

参加
無料

おとなになんて、まねできない! オンリーワンなパフォーマンス!

生き生きとした子どもたちの個性をはぐみ、応援することを目的に、2001年からスタートしました。学校の授業の枠を超えてしまうような歌、ダンス、演奏など、子どもたちがさまざまな特技を静岡芸術劇場で披露します。大きな舞台上でマイクを使わず表現する子どもたちの姿に、大人も元気をもらいます。当日はリハーサル～本番まで、各出演者をSPACメンバーがサポート。毎年どんな出会いが生まれるかドキドキ・ワクワクです!

ぶたいに立つことは初めてでしたが、とてもワクワクして、楽しく演奏することができました。(参加者)

四年前に初めて出演させていただいてから、チューターだった方の舞台を何度も観に行かせていただき、それも貴重な体験になりました。私自身も舞台に興味を持ちました。(保護者)



第23回すばっくこども大会(2022年3月) @静岡芸術劇場
(撮影/猪熊康夫)

SPACシアタースクール

個人向け

7月～8月頃

中学生

高校生

特別
支援

参加型

参加
無料

演劇の奥深さに触れる!

学校教育の中では触れることのできない演劇の面白さ、奥深さを県内の中高生とその保護者の方々に知ってもらうことを目的に、2007年にスタート。

参加者は、からだ・こえに関するプログラムに取り組み、演劇をつくるプロセスを体験していきます。

舞台に立つための身体づくりを行う中で、普段の日常生活では見えてこないさまざまな身体感覚を養い、最後にはひとつの舞台作品を「発表会」という形で広く公開します。

私は、自分に自信がありませんでした。ですが、シアタースクールで自分を好きになることができたのです。絶対に新しい自分に出会えます。面白い友達も増えて、貴重な経験もできる!一石二鳥、いや、一石三鳥です!(2008年～2012年参加/女性)

- 参加者募集時期/例年6月頃
- お問い合わせ/TEL: 054-203-5730 E-mail: mail@spac.or.jp



シアタースクール2018発表会「十二夜」
(撮影/猪熊康夫)

中2～高2の夏を過ごしたシアタースクールでは、最初は「周りと違うことをしないように」とばかり考えていましたが、演劇を通して「個性があるから面白いんだ」ということを教わりました。(2008年～2011年参加/女性)

スパカンファン-プラス [SPAC-ENFANTS-PLUS]

個人向け

7月下旬～8月頃

中学生

高校生

参加型

参加
無料

世界に通用するメッセージを持った ダンス・パフォーマンスに挑む!

SPAC-ENFANTS* (スパカンファン) は、オーディションで選ばれた静岡県の中高生とともに新しい舞台を創造する、SPACによる国際共同制作プロジェクトです。フランスを拠点に国際的な活動を展開する振付家・ダンサーのメルラン・ニヤカム氏を迎え、2010年にスタートしました。「世界中の子どもたちが未来への希望を取り戻すことができるダンス」をコンセプトに、芸術表現として世界に通用するメッセージを持ったダンス作品を目指します。

2019年からは55歳以上のメンバーも加わり、スパカンファン-プラスとして、世代をこえたダンスの可能性を探ります。

※ENFANTS=フランス語で「子どもたち」の意味

- メンバー募集時期/未定(8月にオーディション実施可能性あり)
- お問い合わせ/TEL: 054-203-5730 E-mail: mail@spac.or.jp



スパカンファン-プラス2022「Reborn-灰から芽吹く-」
(撮影/松本和幸)

中学に入ってから、まわりに合わせることを気にしてダンススタジオでのダンスを楽しめなくなっていたけれど、ここでは自分自身でいられた。こういう場所があってよかったです。(2021～2022年参加/中学生)

大病をしてお休みしたけれど皆に励まされて復帰して舞台に立つことができ、ラッキーでハッピーでした。ニヤカムさんのダンスで健康を取り戻すことができました。(2019・2022年参加/over55)

すぱっく おやこ小学校

個人向け

6月～7月頃

小学生

参加型

参加
無料

親子、ときどき同級生。親と子のための小学校

すぱっくおやこ小学校は、親子が2人1組で参加するアートプロジェクトです。様々な専門家の方に講師となってもらい、手を動かしたり話し合ったり、親子間での共同作業や対話中心の授業を行います。親と子が「同級生」として同じ立場になって時間を過ごすことで、一緒に学び、互いに発見するための学校です。

●プログラム例（2022年／静岡会場）

1時間目／算数

親子で駄菓子屋さんを運営するとしたら？
協力し合って実際にやってみよう！

2時間目／国語

ことばを話す体ってどんなもの？
いつもとちがう発声と体を見つけよう。

3時間目／社会

ご家庭の新ルールを親が提案し、
子と討論を繰り広げる爆笑白熱バトル。

4時間目／図工

親子でお互いの未来が楽しみになる
贈り物を作りあおう！

学校での様子を見るコトができました。一緒に生徒なんておもしろかったです。一緒に考えて一緒に課題に取り組み、仲間（相談できる相手なんだなと気付きました）になれました。（30代・女性／静岡会場）

●募集時期／例年4月頃

●お問い合わせ／TEL：054-203-5730 E-mail：oyako@spac.or.jp



すぱっくおやこ小学校 in 静岡@静岡芸術劇場
(撮影／山本陸)

初めて会った人たちと色んなことができてうれしかった。お母さんだから色々知っているけど、こんなに楽しそうにしている所を久しぶりに見ることができました。（小学4年生・女子／浜松会場）

SPAC インクルーシブシアター てあとるてをとる

学校等団体向け

6月～翌年3月頃

小学生

中学生

高校生

特別
支援

鑑賞型

参加
無料

てあとる(=シアター)で手をとりあい め、みみ、からだ、こころでふれる

赤ちゃんからお年寄り、障がいのあるなしに関わらず全ての人に「えんげき体験」をお届けするSPACの新しいプロジェクト。

2022年に創作・上演した『ちかくにあるとおく～鏡の国のアリスより～』は、心弾む仕掛けが満載の美術とともに、美しく優しい作品世界が五感に働きかけます。俳優の歌や心地よい演奏に導かれながら、観客自身が主人公となって「日常のなかに広がる不思議な空想世界」を旅する音楽劇です。特別支援学校での上演のほか、静岡芸術劇場ロビーにて一般公演（ベイベー向け／バリアフリー）も行っています。

親子ともにとっても楽しませていただきました。3歳の娘も何度も声をあげて笑っていました。（女性／20代）

●募集時期／例年2月頃

●お問い合わせ／TEL：054-203-5730 E-mail：recafe@spac.or.jp



SPAC インクルーシブシアター てあとるてをとる
『ちかくにあるとおく～鏡の国のアリスより～』
静岡芸術劇場ロビー公演@静岡芸術劇場
(撮影／平尾正志)

赤ちゃんが喜ぶ仕掛けがいっぱいで、まだ0歳の息子も興味津々で見入っていました。吸収力の高い乳児期に一流の演劇に触れられるのはとても素晴らしいです。（女性／30代）

ご案内

ふじのくに地球環境史ミュージアムは、高校校舎をリノベーションした全国でも珍しい県立自然系博物館で、平成28年3月に開館しました。

地球環境史とは、人と自然の関係の歴史のことで、当館はこれまでの歴史を振り返り、そして、これからの豊かな未来の在り方を考える博物館です。

常設展示では、90万点を超える収蔵資料の中から厳選した約3,000点の動植物や化石などの標本を展示しており、本物を直に観察できる環境の中で、年代に応じた様々な学習ができます。



施設情報

- 施設概要** 来館者ゾーン／常設展示室11室・企画展示室2室
- 開館時間** 午前10時～午後5時30分(最終入館は午後5時まで)
- 休館日** 月曜日(月曜が祝日の場合は次の平日)・年末年始
- 観覧料** 児童・生徒／無料
教育課程に基づく教育活動で観覧される場合、引率の先生も無料です(減免申請手続きが必要)
- 無料駐車場** 自家用車／約200台 大型バス／5台

アクセス情報

ふじのくに地球環境史ミュージアム

- 〒422-8017 静岡市駿河区大谷5762 (旧県立静岡南高等学校)
- TEL: 054-269-7111 FAX: 054-238-5870
- E-mail: info@fujimu100.jp
- https://www.fujimu100.jp

 fujinokuni_NEM
  fujinokuninaturemuseum

 fujimu100



自家用車でお越しの場合

- 東名高速道路／日本平久能山スマートICから5分
- 東名高速道路／静岡ICから15分
- JR静岡駅から20分
国道150号バイパスから「大谷放水路東」左(右)折し、消防署前交差点を右折してください。

公共交通機関でお越しの場合

- 静岡駅北口バスターミナル8B乗り場から「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行きで終点下車(開館時間帯に1時間に1本程度)

ご利用ガイド

遠足や校外学習などでのミュージアムのご利用を検討されている場合は、それぞれの学校に合わせた幅広いお手伝いをしますので、お気軽にお問い合わせください。

より深い学習をするため、事前に職員と現場で打合せしながら、ミュージアムを視察することをおすすめします。



展示室3／ふじのくにの海



展示室6／ふじのくにの成り立ち

ポイント 1

博物館には、本物がいっぱい

博物館には、幅広いテーマの展示や本物の標本が多数あります。本物を見ることで自然の不思議さや偉大さに触れることができ、学習への動機づけが期待されます。また、展示ガイドやワークシートを利用することで、教科書の内容から一歩踏み込んだ学習ができます。

ポイント 2

観覧料は無料です

教育課程に基づく利用につきましては、観覧料が発生する場合、児童・生徒及び引率の先生ともに減免承認申請書をご提出していただければ、観覧料は無料になります。（※保護者の方は対象外です）

ポイント 3

雨天時や昼食場所に困りません

雨天時のみの利用予約も可能です。また最大で180名の方々がお弁当を食べることができる部屋をご用意しています。



視聴覚室

ポイント 4

全国初の対話型展示「地球家族会議」

地球家族会議とは、ミュージアムスタッフと来館者が一緒になってこれからの未来について考える会議で、所要時間は20分程度です。イメージとしては学級会に近く、ミュージアムスタッフの話を聞くだけでなく、来館者が自ら自分の考えを述べる機会でもあります。議題となるテーマは、「気候変動」「生物多様性」「水」「金属資源」「エネルギー」「食料」「人口」「自然災害」の8つの中から1つ選んで行われます。

どのテーマも2030年には深刻な状況となる可能性があり、その状況を想定しながら自分たちが心豊かに暮らす方法を考えていきます。

授業の場として、ミュージアムをご利用ください

以下の学習指導要領の内容に対応しています。

小学校 3 年生

理科

- 昆虫の成長と体のつくり (展示室4・ミドルヤード)
- 植物の成長と体のつくり (展示室7・ミドルヤード)

社会科

- 地域に見られる生産や販売の仕事 (展示室10)
- 地域の安全を守る働き (展示室2)



小学校 4 年生

理科

- 人の体のつくりと運動 (展示室8)
- 季節と植物 (展示室7・ミドルヤード)

社会科

- 自然災害から人々を守る活動 (展示室2)
- 県内の伝統や文化、先人の働き (展示室10)
- 県の特徴ある地域の様子 (展示室6)

小学校 5 年生

理科

- 植物の発芽、成長、結実 (自然観察路・ミドルヤード)
- 動物の誕生 (展示室8)

社会科

- 我が国の農業や水産業における食料生産 (展示室3・4)

家庭科

- 快適な住まい方 (展示室10)
- 環境に配慮した生活 (展示室9・10)



小学校 6 年生

理科

- 人の体のつくりと働き (展示室8)
- 食べ物による生物の関係 (展示室4)
- 人と環境 (展示室10)
- 生物と環境 (展示室4・10)
- 土地のつくりと変化 (展示室2・9)

家庭科

- 快適な住まい方 (展示室10)
- 環境に配慮した生活 (展示室9・10)

中学校 1 年生

理科

- 生物の観察と分類の仕方 (自磁陣路・ミドルヤード)
- 植物の体の共通点と相違点 (展示室7)
- 動物の体の共通点と相違点 (展示室8)

社会科

- 人類の誕生 (人類史ライブラリー)
- 世界各地の人々の生活と環境 (展示室10)
- 日本の地域的特色と地域区分 (展示室6)
- 古代までの日本 (展示室1・5)

技術・家庭科

- 生物育成の技術 (展示室10)
- エネルギー変換の技術 (展示室9・10)

中学校 2 年生

理科

- 植物の体のつくりと働き (展示室7・ミドルヤード)
- 動物の体のつくりと働き (展示室8)
- 生物の種類の多様さと進化 (展示室7)
- 自然の恵みと気象災害 (展示室2)

社会科

- 世界各地の人々の生活と環境 (展示室10)
- 日本の地域的特色と地域区分 (展示室6)
- 古代までの日本 (展示室1・5)

技術・家庭科

- 生物育成の技術 (展示室10)
- エネルギー変換の技術 (展示室9・10)

中学校 3 年生

理科

- 生物の種類の多様性と進化 (展示室7・8)
- 生物と環境 (展示室9・10)
- 自然環境の保全と科学技術の利用 (展示室9・10)
- 科学技術の発展 (展示室10)

社会科

- 世界各地の人々の生活と環境 (展示室10)
- 日本の地域的特色と地域区分 (展示室6)
- 古代までの日本 (展示室1・5)

技術・家庭科

- 生物育成の技術 (展示室10)
- エネルギー変換の技術 (展示室9・10)

ミュージアムではこんな学習ができます



展示室で
食物連鎖や静岡県の
自然環境について
調べる学習

自然と人間の
共生を目指した
環境教育

生物の骨格標本を
見比べながら
進化の過程や
人体について
学ぶ学習

本物の岩石や
化石を見ながら、
静岡県全域の
地質について
学ぶ学習

見学の形式

団体見学の方法として下の3つのコースをご用意しております。学校での学習内容、児童・生徒の興味・関心に合わせて自由に見学していただくことも可能です。

音声ガイドで見学コース

必要時間／45分以上

タブレットでQRコードを読み取って、音声ガイドを聞きながら見学します。展示室のテーマや見所を聴くことで展示の理解が深まります。大人数や限られた時間でのご来館に適しています。
※ご利用の際にはタブレット・イヤホンをご持参ください。

ワークブックで見学コース

必要時間／45分～60分程度

当館オリジナルのワークブックを使用しながら、館内を見学します。ワークブックには各展示室の問題があり、その問題を解きながら見学していきます。グループで協力しながら、楽しく見学することもできます。

ガイドツアーで見学コース

必要時間／75分以上

ガイドに解説をしてもらうことにより解説文にはない面白い情報などを得ることができます。学年・学習内容に対応した表現でわかりやすく説明します。
※1グループ15名程度、最大で100名程度までご対応が可能です。

※企画展をご覧になる場合は、さらに30分程度必要となります。

+20分で地球家族会議への参加もおすすめ!

ご来館
前に

バーチャルミュージアム(デジタルコンテンツ)ではVR映像やストリートビューによるミュージアムの類似体験ができます。施設の下見、事前学習としてご利用ください。 <https://www.fujimu100.jp/virtual-museum/>



地球家族会議

「気候変動」「生物多様性」
「水」「金属資源」
「エネルギー」「食料」「人口」
「自然災害」について、インタープリンターが学校授業内容と関連付けて話をします。



展示室9／ふじのくにと地球

総合的な学習の時間

観察・見学などの活動を通して、ふじのくにに特有な知識や情報に出会ったり、持続可能な社会について意識することはできます。



展示室9／ふじのくにと未来

ボランティアスタッフによるガイドについて(学校団体向け)

ガイドの料金は**無料**です。

雨天時のみ利用の場合は、
ガイドでの対応をご遠慮ください。

同日に複数の団体が希望する場合は
申込順にて対応させていただきます。

ガイドの可否に関するお問合せは、来館日の**3日前**より
お電話での問合せにて対応させていただきます。

滞在時間が1時間未満の場合や、対応できるボランティアスタッフが少ない場合は、
展示室ごとのボランティア及びスタッフによるガイドにて対応させていただきます。

担当/企画総務課 TEL:054-260-7111

※詳細のお問い合わせの電話も受け付けています。

来館利用に必要な手続き

1. 来館予約ページに進む

ミュージアム来館予約ページ
<https://fujimul00.f-reserve.jp> を開いてください。



2. 必要事項を記入し 予約を行う

希望日、ガイドツアー・昼食会場・地球家族会議の希望など、必要事項を記入してください。※他の団体と重なった場合、昼食場所・ガイド等のご利用ができないこともあります。

3. 予約完了メールを 確認する

団体予約を登録していただくと、「予約完了メール」が届きます。メールが届かない場合はミュージアム企画総務課(054-260-7111)までご連絡ください。

4. 観覧料等減免申請書を 提出する

予約ページの「学校情報」をご記入いただくことで「引率教員観覧料減免申請書」も作成されます。作成していただいた「引率教員観覧料減免申請書」はFAX(054-238-5870)にて送信していただくか、メール添付でご送付いただくことで先生方の一観覧料も無料となります。

メールアドレス/museum-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

●参加者の声(一部抜粋)

人と自然のシーソーでのあらかわし方がとてもわかりやすかったです。(小学生)

地球家族会議では実演して説明して下さったので、とてもわかりやすかったです。(中学生)

食物連鎖のことや自然と生活のバランスなどのことを知ることができました。(小学生)

食物連鎖の関係性を表した展示室が良かったです。人間も例外ではないことに驚きました。(中学生)

建物のおもかげに興味を持ちました。学校を改造した施設というのが、またおもしろかったです。自然の問題についてもとても興味深かったです。自然を大切にすることを大切にして生活していきたいと思うようになりました。(小学生)

ツアーガイドの方が大変わかりやすく説明して下さったので、展示の意図や繋がりを知ることができ、学びが深まりました。「自然と人間の関係の歴史」を学ぶことは、環境学習のテーマとしても大変ふさわしかったです。(教員)

ミュージアムキャラバン

2015(平成27)年6月からスタートした移動ミュージアムです。

ミュージアムの雰囲気も一緒にまるごと届けたいという思いから、デザインや照明にこだわって新しく誕生したのが、「ミュージアムキャラバン」です。組立式の展示ケースを小中学校の教室に運び込み、簡単な準備をするだけで、見慣れた教室がミュージアムの展示室に変身します。



テーマ1 「昆虫の世界」

全部で約400種1000個体以上を展示しています。

- 静岡県のチョウ
- 静岡県の甲虫など
- 世界のチョウ
- 世界の甲虫など
- 映像



テーマ2 「化石の世界」

掛川市の200万年前の地層から見つかった深海生物「オオグソクムシ」など、約200点の化石標本を展示しています。

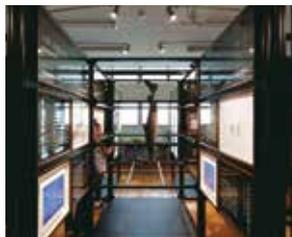
- 静岡県の化石
- 掛川層群の化石
- アンモナイト
- いろいろな化石
- 始祖鳥



テーマ3 「魚の世界」

川魚から駿河湾の深海ザメまで、静岡県で見られる様々な魚の標本120点以上を展示しています。

- 静岡県の淡水魚・海産魚
- 絶滅危惧種・外来種
- 静岡にちなむ魚
- 透明標本
- ヨロイザメ



テーマ4 「植物の世界」

静岡県を特徴付ける植物、植物らしからぬ変わった形の植物などを集めた展示です。

- 植物の花と葉
- 植物標本
- 静岡県の植物
- 植物らしからぬ植物



申込方法

年度開始前(3/31)までのお申し込みをお願いしております。

1、毎年2月頃にミュージアムホームページにて申し込み方法をお知らせします。PCまたはスマートフォンにてお申し込みください。
※申込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。

2、結果をメールにてお知らせします。(5月末に通知予定)実施校には日程調整の上、実施日もお伝えします。

3、ミュージアムスタッフが電話などで事前打ち合わせを行います。

4、設置または解体当日、作業スタッフが伺います。

担当/企画総務課 TEL:054-260-7111 FAX:054-238-5870

※詳細のお問い合わせの電話も受け付けています。

ご案内

静岡県立美術館は県議会100年記念事業の一環として1986年4月に開館しました。『開かれた美術館』を目指し、企画展や収蔵品展のほか、講演会、講座、シンポジウムなどを開催しています。

1994年3月には新館としてロダン館がオープンしました。ここではロダンの《地獄の門》を中心とする32体の彫刻を、明るい大空間を散策しながら鑑賞することができます。



ロダン館



本館

施設情報

開館時間

10:00~17:30
(展示室の入室は17:00まで)

休館日

毎週月曜日(祝日、または振替休日にあたる場合は開館し、翌日休館)。年末年始。その他展示替え等のために休館する場合があります。

駐車場

約400台
(第二駐車場に大型バス駐車可)

バリアフリー情報

貸出車椅子をご用意しています。インフォメーションでおたずねください。身体障害者用駐車場・トイレ・エレベーターがあります。身体障害者用駐車場から入口までスロープがあります。

観覧料

ロダン館・
収蔵品展

区分	個人	団体
一般	300円	200円
大学生以下・70歳以上	無料	

※企画展の観覧料は、展覧会ごとに異なります。
(中学生以下は無料です。)
※引率教員の減免規定あり。

飲食について

美術館内は作品保護のため原則**飲食禁止**です。昼食場所については、各園や学校でご計画いただくようお願いいたします。

アクセス情報

静岡県立美術館

- 〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2
- TEL: 054-263-5755 FAX: 054-263-5767
- E-mail: soumuPMA-shizuoka@pref.shizuoka.lg.jp
- https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp

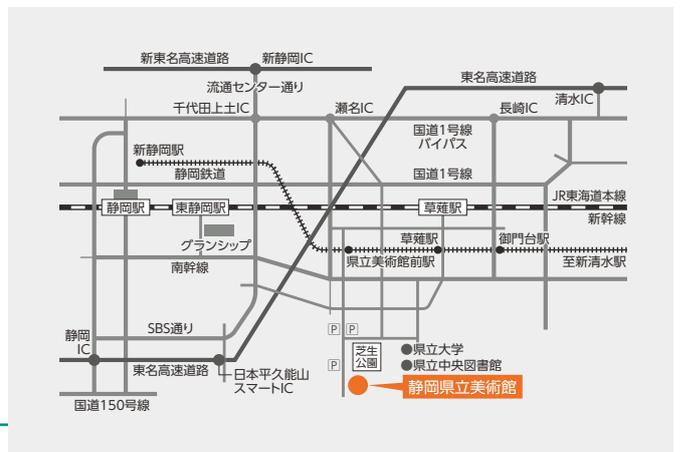


トップページ ▶ [アートを学ぶ・体験する](#) ▶ [学校・先生向けプログラム](#)

[@shizuokakenbi](#)

[@shizuokakenbi](#)

[@shizuokakenbi](#)



車・タクシー を利用する 場合

- 東名高速道路/静岡IC、清水ICから約25分、日本平久能山スマートICから約15分。
- 新東名高速道路新静岡ICから約25分。
- 静岡駅南口から南幹線経由で約20分。
- 草薙駅から約5分。

電車を 利用する 場合

- JR東海道線「草薙」駅県大・美術館口から、徒歩約25分またはバス約6分
- 静岡鉄道「県立美術館前」駅から、徒歩15分またはバス約3分

学校向け 美術館教室一覧

美術館教室とは、園児・児童・生徒を対象とした学校連携の教育普及プログラムです。

当館では、実技・鑑賞・職場体験・総合的な学習の時間における取り組みなど、様々な学習活動を学芸員や普及スタッフがお手伝いします。また、学芸員や普及スタッフが学校をお訪ねし、レプリカや教材キットを使用して行う出張プログラムもあります。子どもたちの来館が難しい学校には、粘土やレプリカ・教材キット貸出、講習会や教育研修などにより、先生方への支援を続けていきたいと考えております。

ここに示した利用方法以外でも、ご希望がありましたら検討させていただきますので、ぜひお問い合わせください。

NO	プログラム名	主な対象					定員	所要時間	
		保育園児 幼稚園児	小学生	中学生	高校生	特別支援			
1	ねんど教室・えのぐ教室	○	○	○		○	35名	110分 (準備から片付けまで)	
2	ボランティアスタッフとの鑑賞	○	○	○	○	○	応相談	50-90分	
3	ロダン館ななふしぎ		○	○		○	40名程度	50-60分	
4	美術館の秘密を探れ!		○	○	○	○	35名程度	50-60分	
5	音のかけらワークショップ		○	○	○	○	20名程度	30-45分※	
6	ロダン館デッサン			○	○	○	30名	応相談	
	ロダン館スケッチ・クロッキー		○				40名程度		
7	出張美術講座		○	○	○	○	応相談	40-60分	
8	教員研修協力						応相談	応相談	
9	貸出(アートカード)	○	○	○	○	○	貸出から返却まで2-4週間程		
10	貸出(レプリカ・教材キット)		○	○	○	○			
11	貸出(粘土)	○	○	○	○	○	貸出から返却まで2週間程		
12	オンライン鑑賞教育プログラム		○	○			応相談	-	45-50分

※「音のかけらワークショップ」は作品の準備の都合上11:00-15:00の時間帯でご計画ください。

お申込みの手順

- 1 電子メールまたは FAXにて(応募期間内に)募集 ▶ 抽選 ▶ 電子メールまたはFAXにて 抽選結果を返信
-
- 2 3 4 5 6 希望日の**1か月前まで**に電話で相談してください。詳細確定後、申し込み確認書(ホームページからダウンロードできます)をFAXでお送りください。
-
- 7 8 9 10 希望日の**1か月前まで**に電話で相談してください。詳細確定後、粘土貸出申込用紙(ホームページからダウンロードできます)をFAXにて送付いたします。
-
- 11 申し込み不要です。ホームページよりご利用ください。

減免申請について

展示会を団体観覧する際、減免申請書をご提出いただくことで引率教員の観覧料を免除いたします。事前に当館ホームページから申請書をダウンロードし、必要事項を記入して当日ご持参ください。(教員のみ)

※ご不明な点がありましたら企画総務課(054-263-5755)までお問い合わせください。

問い合わせ

学芸課の担当が豊富な実績をもとにご相談に応じます。また毎年、年度末には学校向けのメニューを掲載した「美術館教室のしおり」を各学校に送付しておりますので、是非ご活用ください。

静岡県立美術館 学芸課 実技室担当

● TEL: 054-263-5857 ● FAX: 054-263-5742

● <https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/> トップページ ▶ [アートを学ぶ・体験する](#) ▶ [学校・先生向けプログラム](#)

※月曜日は美術館が休館日のため、実技室担当がお問い合わせに対応できない場合があります。

1 ねんど教室・えのぐ教室

●ねんど教室

陶芸などに使われるにのびの少ない水粘土を使用し、粘土と触れ合う「体感遊び」に始まり、個人制作から共同制作へと進めていきます。大量の粘土との出会いは、子ども達にとって非日常的な体験となるはずです。



定員	35名まで
対象	3歳児から中学生
参加費	無料
持ち物	汚れてもよい服装(半袖・半ズボン、体操着が望ましい) 足を拭くタオル・着替え

●えのぐ教室

水をかければきれいに落ちる絵の具を使用し、屋内で「透明ビニールに描こう」を実施します。(施設整備のため、今年度は屋外では実施しません。)のびのびと身体を動かし、カラフルな絵の具で遊ぶことは、子ども達にとって新鮮な体験となるはずです。

定員	35名まで
対象	3歳児から中学生
参加費	1人350円(絵の具代として)
持ち物	汚れてもよい服装(半袖・半ズボン、体操着が望ましい) 足を拭くタオル・着替え

※持ち物は引率者も同様です。カメラをご持参の場合、実技室内は写真撮影可能です。

プログラムのながれ

- 集合時刻に、スタッフが美術館正面入口までお迎えに参ります。
- 作品保護のため、館内は飲食禁止です。開放できる場所はありませんので、雨天時の昼食の場合は、各園・各学校でお願いします。
- 美術館教室の終了後、展示室を通過してロダン館から退館するプランも可能です。(所要時間10～20分程度)

	ねんど教室		えのぐ教室	
	午前の部	午後の部	午前の部	午後の部
集合時間 (美術館正面入口)	9:50	12:55	9:50	12:55
制作時間	10:00 } 11:20	13:00 } 14:20	10:00 } 11:20	13:00 } 14:20
片付け	11:20 } 11:50	14:20 } 14:50	11:20 } 11:50	14:20 } 14:50
鑑賞 (企画展・収蔵品展)	12:00 } 12:20	15:00* } 15:30	12:00 } 12:20	15:00* } 15:30

※教室が始まる前の鑑賞も可能です。

お申込みの方法(ねんど教室・えのぐ教室)

受付期間

4月3日(月)～4月10日(月)

- 年度内の全日程について左記期間で受付いたします。
- 他校・他園との合同でお申し込みいただくことはできません。

1回の定員は
35名まで

- ねんど教室(午前)、ねんど教室(午後)、えのぐ教室(午前)、えのぐ教室(午後)、それぞれ定員は最大35名です。
- 参加児童の総数が36名以上になる場合は、午前・午後、または複数日に分けてご計画ください。

※複数日に分かれる場合も申込書は1通をお願いします。

申込み方法

当館ホームページより専用の申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、指定の期間内に電子メールまたはFAXにてお申し込みください。

※電子メールでのお申し込みの際は、必ずPDFでお送りください。

申込書は
こちら▶



抽選結果のお知らせ

4月24日(月)までに、メール返信またはFAXで各園、学校にお知らせいたします。

※上記日付までに抽選結果のメールまたはFAXが届かない場合、担当までお問い合わせください。

2 ボランティアスタッフとの鑑賞

当館のボランティアスタッフと一緒に、展示作品を対話しながら鑑賞するプログラムです。作品を前にして思ったことや感じたことを、友達や先生、ボランティアスタッフと話をしてみましょう。

ボランティアスタッフの参加調整が必要となるため、必ず希望日の1ヶ月前までにお電話でご相談ください。



3 ロダン館ななふしぎ

ロダン館の彫刻作品を、楽しみながらクイズ形式で鑑賞するプログラムです。最初に受け取る7枚のカードには、それぞれロダンの作品についてクイズが書かれています。カードの裏は作品解説シートになっているので、それもヒントにしながら答えを探します。答え合わせでは、スタッフと一緒に作品について考えてみます。

別室での解説となります。



4 美術館の秘密を探れ!

美術館の展示の工夫や施設の様々な場所に隠された作品保護のための設備など、展示室や普段は入れない施設の裏側を見学していきます。社会科見学や総合的な学習の時間、キャリア教育学習と絡めた利用も増えています。



5 音のかけらワークショップ

当館収蔵品、金沢健一《音のかけらI》を使用した鑑賞ワークショップです。この作品は厚さ9mm、直径2.2mの円形の鉄板をさまざまな形に熔断し、ゴムの足をつけて並べた彫刻作品で、マレット(ばち)等で叩くと、鉄琴のように音を出すことができます。表現活動や音で交わすコミュニケーション活動としても機能する作品といえます。また、難解と思われている現代美術に、体感的に触れ親しむ機会としても有効です。

床に座って実施します。動きやすい服装でお越しください。



6 ロダン館デッサン・スケッチ・クロッキー

ロダン館で、ロダン作品を中心とした彫刻作品を素描していただけます。描くことでロダン作品を細部までじっくり観察し、鑑賞を深める貴重な体験になるはずです。
※原則、技術的な指導は行っておりません。予めご了承ください。

デッサン(素描)…………… 物体の形体や明暗をとらえる。
スケッチ(写生)…………… スケッチブックや画板を手で持って描く。
クロッキー(速写)…………… 短時間で素早く形を捉える。

●持ち物/鉛筆(色鉛筆)・練り消しゴム・画用紙、画板など

※木炭、プラスチック消しゴム等、粉や削りカスが出るものは使用できません。シャープペンシルもご遠慮ください。
※デッサンの場合はイーゼル・椅子・カルトン(画板)を貸し出します。



7 出張美術講座

当館教育普及スタッフや学芸員が学校をお訪ねし、レプリカや教材キットなどを使って先生と当館のねらいを照合した上で授業を行います。具体例としては、

- 当館所蔵作品や展覧会出品作品、作家についての解説
(収蔵品掲載先 <https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>
トップページ → [デジタルアーカイブ](#))
- 美術館や学芸員の仕事について
- 来館前の事前学習

などですが、授業の展開に合わせてご相談ください。講義形式や対話型鑑賞形式など、授業形態についてもご相談に応じて実施いたします。



※当日、車から会場まで荷物の運搬のお手伝いをお願いする場合があります。
※遠方の学校では当日の移動の都合上11:00～15:00の時間帯をお願いする場合があります。

実践例 1 屏風のレプリカを使って / 1

「屏風の見方を知ろう」

ねらい

- 屏風絵を鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化に対する関心を高めます。
- 屏風の鑑賞を通して、日本画の基本的な見方や知識を身につけます。

ながれ

- 屏風とは?学芸員から説明
- レプリカ鑑賞 気付いたことを付箋に書く、貼る
- 学芸員が解説・回答 付箋の内容や生徒の様子を見ながら
- 感想の共有・まとめ



実践例 2 屏風のレプリカを使って / 2

「屏風の正しい使い方?」

ねらい

- 具体的な使い方を考えることで、美術作品の多面的な見方を身につけます。
- 屏風の使い方を考える活動を通して、日本の美術や伝統と文化に対する理解と愛情を深めます。

ながれ

グループ活動

- クジ引きで屏風配置の条件決め 作品/使う人(殿様・家来)/部屋の広さ
- 作品を実際に配置 使用者の気持ちや用途を想像しながら
- 発表会 配置の意図を発表、学芸員から屏風の解説
- 感想の共有・まとめ



実践例 3 「考える人」小型像レプリカ「地獄の門」バナーを使って

「考える人を考える」

ねらい

- 彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作業の意図や工夫について考えます。
- 近代彫刻の父といわれるロダンの代表作を通して、彫刻について基本的な見方を身につけます。

ながれ

- 小型像レプリカを観察
- ポーズを真似してみる 自然な人体のポーズではない?
- 形の特徴を発見する 作者の意図と工夫に気付く(ロダンの彫刻の歴史)



8 教員研修協力

アートカード実践や当館の出張授業体験、学校対象事業の紹介など、県内各地区の図工・美術教員研修等への協力も行っています。内容については、電話でご相談ください。

9 貸出(アートカード)

当館収蔵品のアートカードです。ゲームをしながら、楽しく鑑賞活動を行うことができます。48枚1セットでの貸出で、遊び方ガイドと作品の解説本をお付けします。

※受け渡しは来館による手渡しが基本ですが、遠方の学校で来館が難しい場合は、宅配便の利用もできますのでご相談ください。(送料は利用校負担)



10 貸出(レプリカ・教材キット)

出張美術講座で使用しているレプリカや教材キットを貸し出します。過去に実施した先生から提供された授業例の資料があるものもあります。

貸出対象物例(一部)

- レプリカ各種／屏風・掛軸・洋画・彫刻(考える人)
- 鋳造ビデオ
- 素材別立方体
- ロダン体操DVD など

※運搬は利用団体に行っていただきます。



11 貸出(粘土)

ねんど教室を自園・自校で実施したいという幼稚園・保育園、学校等を対象に、粘土や必要な資材の貸出を実施しています。

※約5kgの円筒形の粘土が、3本入って一袋です。一袋当たり約15～18kg入った状態で貸出します。

※運搬と使用後の粘土の練り直し作業は、利用団体に行っていただきます。



12 オンライン鑑賞教育プログラム

学校からオンラインで利用できる鑑賞教育プログラムです。

「地獄の門」VRや、池大雅が描いた屏風の超高精細画像について、個々の端末を通して鑑賞し、表現の意図や特徴を感じ取ったり考えたりする内容です。利用申請やお申込みは不要です。当館ホームページに実施手順を掲載しており、いつでもご利用いただけます。(所要時間は授業1コマ分です。)



詳しくは当館ホームページをご覧ください。

※職場体験についてはお電話でご相談ください。

<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

トップページ ▶

アートを学ぶ・体験する ▶

学校・先生向けプログラム

ご案内

静岡県富士山世界遺産センターは、世界遺産「富士山」の自然や歴史、文化等を展示や映像を通して学べる施設です。世界的に有名な坂茂氏による設計で、逆さ富士型の展示棟が目の前の水盤に映り込むことで正富士が現れます。富士山に関する研究成果を発表する企画展も開催しています。



開館案内

開館時間 9:00～17:00(7、8月は9:00～18:00)
※最終入館は閉館の30分前まで

休館日 毎月第3火曜日及び施設点検日/年末

※詳しくは当センター公式ホームページをご確認ください。

見学情報

※電話でのお問い合わせ、相談にも対応いたします。

富士登山疑似体験をお楽しみいただけます!
(館内らせんスロープで5F展望ホールまで)

館内展示の多くはデジタル展示(タブレット等)!
こころゆくまで「富士山学習」を。

4Kシアターで迫力の富士山映像をお楽しみいただけます!

団体観覧の事前予約は当センター公式ホームページの「予約システム」をご利用ください!

支援対策

教育旅行

- 学生(15歳未満(幼稚園、保育園、小学校、中学校))、高等学校及び大学の在学者、並びにこれらに準ずる方は無料で入館いただけます。
- 引率される先生も、減免制度により無料でご入館いただけます。
- 学年にあわせた**観覧シート**(クイズシート、ワークシート等)がございます。
- 当センタースタッフが館内をご案内いたします。

出前講座

- 学校に向いての出前講座を行っております。「世界文化遺産 富士山」に関する初歩的な内容から専門的な内容まで、幅広い学習のニーズに対応いたします。(※講師料等無料、オンライン対応可)
- 来館と併せて、事前・事後学習としてご利用いただけます。

アクセス情報



静岡県富士山世界遺産センター

- 〒418-0067 静岡県富士宮市宮町5-12
- TEL:0544-21-3776 FAX:0544-23-6800
- E-mail: mtfuji-whc@pref.shizuoka.lg.jp
- <https://mtfuji-whc.jp>



バス お車で お越しの 場合

- 新東名高速道路新富士ICから約10分
- 東名高速道路富士ICから約15分
- 道の駅朝霧高原から約35分
- バス、お車等でお越しの場合、近隣の「富士宮市神田川観光駐車場」をご利用ください(1,000円/バス1台1回)。



I、来館にあたり

学校活動の様々な場面でご利用いただける施設です。
例／総合学習(富士山学習)校外学習、遠足、修学旅行、部活動等

センター
予約システム▶



予約の流れ

学校団体でのご来館については、来館日の5日前までに当センター公式ホームページ内の予約システムから、ご予約をお願いします。

1	予約システムから 申込	<ul style="list-style-type: none"> ● 予約サイトの「学校団体」の予約フォームに必要事項を入力の上、「予約確定」ボタンを押してください(来館日の5日前まで)。 ※ 来館日まで5日を切った場合のご予約については、電話にて、当センター団体予約担当(TEL/0544-21-3776)までご連絡ください。
2	予約完了メール 確認	<ul style="list-style-type: none"> ● 予約確定と同時に、入力いただいたメールアドレスあてに予約完了メールが送信されます。予約内容と予約番号を確認してください。 ※ 確認できなかった場合は、当センター団体予約担当(TEL/0544-21-3776)までお問合せください。
3	下見・事前打合せ 調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 予約時に下見・事前打ち合わせ等のご希望をいただいた方については、申込完了後、当センターから詳細の確認のため、ご連絡させていただきます。 ※ 予約完了後に下見を希望される場合は予約サイトで変更の手続きをしていただくとともに、当センター教育普及スタッフ(TEL/0544-21-3776)までご連絡ください。 ※ 希望時間が集中した場合等は、時間の調整をお願いする場合があります。
4	引率者観覧料 減免承認書 交付	<ul style="list-style-type: none"> ● 予約時に、教員等引率者の観覧料減免申請(予約フォームでのチェック<input checked="" type="checkbox"/>)をいただいた方については、来館日当日までに、予約申込者あて「観覧料減免承認書」を送付します。 ※ 送付先について、予約申込者以外を希望される場合は、予約申込時に、予約フォームの連絡事項欄に送付先をご入力ください。
5	来館当日	<p>(1) 当日までに、予約完了メールに記載してあるURLから、「団体観覧者年齢等承認書」をダウンロードし、当日、催行人数等を記載し、送付された引率者観覧料減免承認書とあわせて、受付で提出してください。</p> <p>(2) 観覧料の精算をし、チケットをお受け取りください。</p> <p>※ 来館時間が予約日時より30分以上前後する場合や、予約人数を10人以上変更する場合は、直接当センター団体予約担当(TEL/0544-21-3776)までご連絡ください。</p>
6	変更または キャンセル (※ 予約完了後)	<ul style="list-style-type: none"> ● 予約内容の変更またはキャンセルは来館日の5日前までをお願いします。予約サイトの「変更・取消フォーム」に予約時に入力していただいたメールアドレスと予約完了時に発行される予約番号を入力し、ログイン後、変更または取消の手続きを行ってください。 ※ 来館日の4日前から当日までに、変更またはキャンセルの必要が生じた場合は、電話にて当センター団体予約担当(TEL/0544-21-3776)までご連絡ください。

引率の先生方へ お願い

- 当センターには、昼食をとるスペースがございません。
 - 館内では、展示物の保護・湿度管理等のため、次に挙げる行動や持込みを禁止しております。事前に児童・生徒の皆さんへのご指導をお願いいたします。
- ① 鉛筆・シャープペンシル以外の筆記用具(ボールペン・マジック等)の使用は禁止です。
 - ② 1Fカフェスペース、5F展望ホール以外での飲食は禁止です。
 - ③ 傘や濡れたものの持込みは禁止です。
- ※ 観覧シートの実施、観覧メモなどを記入する際にはバインダー等をご準備ください。

II、来館～観覧

様々な切り口から“世界文化遺産「富士山」”の展示を行っております。

1 富士登山疑似体験

館内図▶1

まずは5F展望ホールまで登りましょう。内部はらせんスロープになっており、緩やかなスロープを登りながら映像、音声による「富士登山疑似体験」ができます。

- 富士山の自然、環境、景観



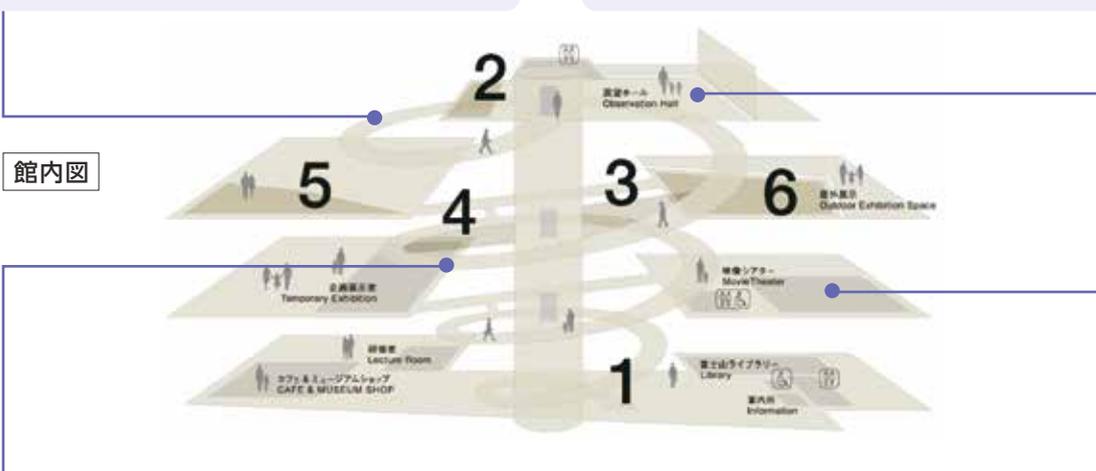
らせんスロープ

2 5F 展望ホール

お天気が良いと、美しい富士山の姿を眺めることができます。また、ホールには「富士山の可視領域」、「ふるさと富士（見立て富士）」の展示があります。



展望ホール



館内図

3 下山(自由観覧)

らせんスロープを「下山」しながら、各展示ブースをご覧ください。

- 5F 荒ぶる山／館内図▶2 …… 富士山のなりたち(自然・地学)
- 4F 聖なる山／館内図▶3 …… 「信仰の対象」としての富士山
- 3F 美しき山／館内図▶4 …… 「芸術の源泉」としての富士山
- 3F 育む山／館内図▶5 …… 富士山の自然(動植物)
- 受け継ぐ山／館内図▶6 …… 富士山の保全・防災 富士塚



聖なる山

各展示ブースでは、タッチパネルでコンテンツをご覧ください。興味のある分野をとことん学べます！

4 2F 映像シアター

4K映像シアターで迫力の富士山映像を!(1時間に4回上映)

- 天(テン)の巻／毎時00分
富士山の四季の変化を追った空撮映像
- 宙(ソラ)の巻／毎時15・45分
富士山を“竜の目”で眺めたダイナミックな映像
- 地(チ)の巻／毎時30分
海拔0m～頂上まで現代の登拝の姿を追った映像



映像シアター

※映像シアター視聴のタイミングは、教育普及スタッフにご相談ください。
※当日の利用団体数や団体人数によっては、観覧行程内で映像シアター視聴ができない場合があります(シアター定員72名)。

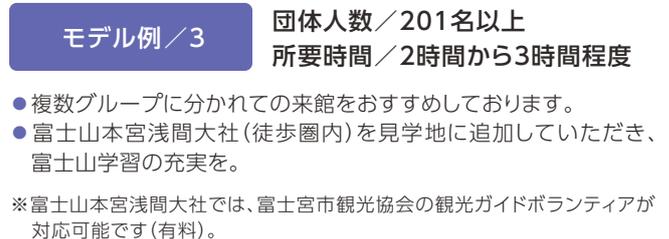
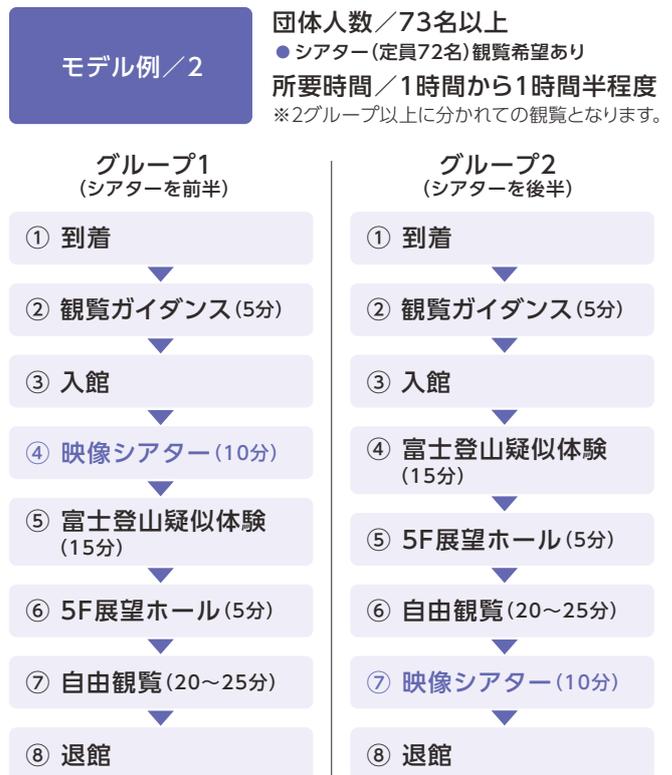
5 各種観覧シート

来館しての活動をより充実したものにできるように、年齢、学年に応じた「観覧シート」を準備しております。事前学習にもご利用いただけます。



団体に応じた観覧モデル

団体(人数)に応じた観覧モデルをご用意しております。
当日の団体予約状況によっては希望に応じられないこともあります。



Ⅲ、出前講座

センター職員が多様な切り口から
“世界文化遺産「富士山」”の講座を行っております。

1 無料で実施します！

県内の実施では、講師料や交通費等の費用は無料

- スクリーン、プロジェクター等は学校でご準備をお願いいたします。
- ZOOM等を利用したのオンライン講座も可能です。



	対象	活用方法(例)
活用方法	小・中学校 高等学校 大学 各種学校	<ul style="list-style-type: none"> ●静岡県富士山世界遺産センター来館の事前学習・事後学習 ●総合的な学習の時間(富士山学習、地域研究、環境学習等) ●世界遺産富士山を学ぶ講話・講座 ●課外活動(校外学習、部活動等) (朝霧野外活動センター等、外部施設へも出張します。) ●各種研修(教職員に対する研修も行います。)

質疑応答にも
対応します。

- 小学生低学年向けから、高校生、大学生等に向けての富士山を究める内容まで対応いたします。

2 充実したラインナップ!

	担当	タイトル(目的・内容等)例
富士山 入門	教育普及スタッフ	世界遺産の富士山を学ぼう ●世界文化遺産「富士山」の文化的価値について、わかりやすく解説します。

	分野(担当)	タイトル(目的・内容等)例
専門講座	文化・芸術 (松島教授)	海を越えた富士山—外国に遣わされた絵画と工芸 ●近世・近代に日本から外国にもたらされた富士山をかたどった美術・工芸品を紹介し、その背後にある知られざる“歴史秘話”をひもときます。
	火山・地質・防災 (小林教授)	静岡県の活火山を比較してみよう ●静岡県の大地の成り立ちのほか、県内の3つの活火山を比較しながら、富士山の特徴を解説します。
	歴史・信仰 (大高教授)	富士山信仰を歴史から学ぼう ●原始・古代から中世、近世、近代にかけて移り変わる時代の中で、富士山への信仰を遙拝(ようはい)・登拝(とはい)・巡拝(じゅんぱい)・近代登山といった流れから学んでいきます。
	民俗 (井上准教授)	富士山のふもとの生きる ●富士山麓で見られる多様な生業や産業から、人々の暮らしと富士山との関わりについて解説します。

Ⅳ、個人向けプログラム

他にも以下のように講座、イベント等を行っております。
また、ホームページもコンテンツを充実させております。

	名称	参加費	内容	備考
1	公開講座	無料	当センター1階研修室で、富士山の自然や文化・歴史、世界文化遺産富士山についてなど、幅広い内容について学習していただく講座を実施。	実施／毎月1回程度 ●詳細は当センター公式ホームページから。 ●予約システムにより事前に予約が必要。
2	ファミリーイベント	無料	富士山の自然や文化、世界文化遺産富士山について楽しく学習していただくために、来館した子どもや子ども連れのご家族向けに、クイズシートを配布し、クイズラリーなどを実施。	実施／ゴールデンウィーク、夏休み、お正月など ●詳細は当センター公式ホームページから。 ●事前予約不要。
3	センターホームページ各種コンテンツ	—	(1)富士山ライブカメラ in 静岡県富士山世界遺産センター (2)おうちで体験!VR富士山世界遺産センター (3)SNS、メールマガジン等の配信	(1)当センター屋上にライブカメラを設置し、富士山映像を配信中。過去に遡っての「富士山」もご覧いただけます。 (2)当センター館内の3Dマップをおうちに居ながらにして、ご覧いただけます。 (3)各種SNSやメールマガジンで富士山や当センターの企画展・イベント等の情報発信中。

問合せ先

静岡県富士山世界遺産センター
企画総務課

●TEL: 0544-21-3776 FAX: 0544-23-6800
●E-mail: mtfuji-whc@pref.shizuoka.lg.jp
●https://mtfuji-whc.jp

センター
HPは
こちら▶



※掲載の情報は令和4年度時点のものです。詳細はホームページでご確認ください。

静岡県埋蔵文化財センター

ご案内

当センターでは、出土文化財の展示、講座や講演会など**歴史学習を支援する活動**をしています。特に、本物の土器に触れての「土器分類体験」や石器（黒曜石）による「試し切り体験」、舞錐式火起こし器を使っての「火起こし体験」など「見て・聞いて・触れる」体験型の学習プログラムを用意しました。広く**学校や地域**と連携し、当時の人々の暮らしや歴史を楽しみながら学ぶことができる**体験・出前授業**に取り組んでいます。また、埋蔵文化財の遺跡や発掘調査について学ぶ機会として**職業体験学習**や成人向けの各種**考古学体験講座**も実施しています。

さらに、当センター周辺には沢山の学習スポットがあります。それらの見学や体験と併せた学習プランの御案内もさせていただきます。是非、多くの皆さんのお越しをお待ちしています。なお、当センターにお越しただけな場合は、従来どおり出前授業も行います。

開館案内

開館時間	午前9時30分～午後4時30分
休館日	土日祝日、年末年始(第3土曜日を除く)
観覧料	無料



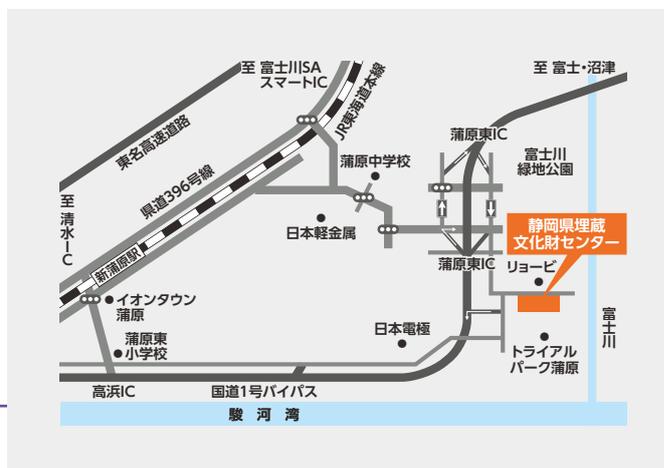
アクセス情報

静岡県埋蔵文化財センター

- 〒421-3203 静岡市清水区蒲原5300-5
- TEL:054-385-5500 FAX:054-385-5506
- E-mail: maibun_tyosa@pref.shizuoka.lg.jp
- https://www.smaibun.jp



- @5kXwcatbbVGC1wH
- ID:1584782278556513
- shizumaibun



徒歩

トライアルパーク蒲原北側

- JR「新蒲原」駅より東へ約30分
- ※ 駅から臨時バスの運行もできます。御相談ください。(こども100円、おとな190円)

自動車

- 国道1号線蒲原東ICより約3分

その他

- マイクロバス、大型バスでの来館も可能

1 体験授業

実施日	火・木曜
実施場所	静岡県埋蔵文化財センター
実施内容	土器や石器等の出土文化財を活用した体験授業 (体験授業・出前授業プログラムから選択)
申込方法	①E-mail又はFAXで申請書提出(4月1日以降随時) ②予約確定後、電話連絡します。 ※ウェブサイトの「体験・出前授業カレンダー」で空いている日程を御確認のうえ、お申し込みください。

2 出前授業

実施日	火・木曜
実施場所	申込みのあった学校・公共施設
実施内容	土器や石器等の出土文化財を活用した体験授業 (体験授業・出前授業プログラムから選択)
申込方法	①E-mail又はFAXで申請書提出 (4月10日以降随時) ②予約確定後、電話連絡します。 ※ウェブサイトの「体験・出前授業カレンダー」で空いている日程を御確認のうえ、お申し込みください。

出前授業の人気メニュー 4クラスローテーションの場合
(2時間コース)※移動休憩は5分毎

- 土器分類……………25分
- 火起こし……………25分
- 石器の試切……………25分
- 講話……………25分

● 体験授業・出前授業プログラム

プログラム	内容	所要時間	
① 展示室見学 ※体験授業のみ実施	職員のガイドによる展示室の見学	30～50分	
② 整理・保存処理作業見学 ※体験授業のみ実施	職員のガイドによる埋文センターの業務見学	20～30分	
③ 発掘調査と地域の遺跡	発掘調査と学校周辺の遺跡についての学習	20～30分	
④ 職業講話	埋蔵文化財発掘調査の仕事についての職業学習	20～30分	
体験メニュー	⑤ 土器分類体験	本物の縄文土器片や弥生土器片等の分類体験	25～30分
	⑥ 石器試し切り体験	石器の学習と黒曜石の剥片で物を切る体験	25～30分
	⑦ 火起こし体験	人類と火の関係を学習し、昔の火起こしを体験	25～30分
	⑧ 勾玉作り体験	勾玉の学習と石材を削り出して勾玉を作る体験	90～120分
	⑨ ミニはにわ作り体験	古墳やはにわの学習と粘土でミニはにわ作りの体験	90～120分
	⑩ 古代織物体験	古代織物の学習と実際に織物を織る体験	60～90分
	⑪ 弓矢体験	古代の狩猟について学び、疑似獲物(的)を狙う弓矢体験	60～90分

● 御利用いただいた学校からの声

体験授業がきっかけとなり、身の回りの歴史に興味をもつ児童が増えました。長期休業中に市内の古墳を見に行ったり、インターネットで検索した家庭もありました。

専門家ならではの詳しくわかりやすい解説で、子供たちは非常に興味をもつことができました。また、活動に入ってからも、子供の様子に合わせて助言や手助けをいただき、安全に取り組むことができました。

3 体験用具の貸出

実施日	平日(土日祝日、年末年始を除いた日)
実施場所	静岡県埋蔵文化財センター
実施内容	火起こしキット／土器分類キット／石器試し切りキット／弓矢(狩猟)キットの貸出
申込方法	①E-mail又はFAXで申請書提出 (4月1日以降随時) ②予約確定後、電話連絡します。

4 フェスタ埋文

実施日	8月
実施場所	静岡県埋蔵文化財センター
実施内容	火起こし体験や勾玉作り、弓矢体験など古代の人々が行っていた作業を実体験できるイベント。 実施する体験プログラムは年により異なります。
申込方法	火起こし体験・勾玉作り体験など予約が必要なプログラムとセンター探検隊など当日参加できるプログラムがあります。詳細はセンターウェブサイト参照。

5 その他

1～4の他に各種研修会も行なっています。御相談ください。

※雨天時等は当センター内で昼食場所を提供することができます。御相談ください。
※業務の都合上、御希望に添えない場合があることをあらかじめ御了承ください。

社会科の授業で学習した内容に沿ったもので、本物に触れることができたことは、とてもよい経験になりました。

学習が済んでいても体験できていないことでしたので、よかったです。

実際に体験することで苦労や工夫、知恵を実感することができて、心に響く体験になりました。

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

ご案内

グランシップは、「文化創造と交流の拠点」として、静岡県が設置する県立複合文化施設です。

現在は令和4年度から5年間、公益財団法人静岡県文化財団がグランシップの指定管理者として、グランシップ主催事業の企画の他、貸館事業、大規模コンベンションや各種学術会議等を通じ、静岡県の文化振興の一翼を担っています。

理念・目的・基本方針等

グランシップは、人、もの、文化、情報が交わり、人々が集い憩う“県民の心のオアシス”となることを理念として運営しています。



大ホール



中ホール

施設情報

沿革

平成10年8月31日 竣工
平成11年3月13日 開館
平成18年4月1日 指定管理者制度導入

指定管理者

(公財)静岡県文化財団(平成18年～)

主要施設

大ホール／中ホール／会議ホール／交流ホール／展示ギャラリー／映像ホール／グランシップ広場 等

アクセス情報

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

- 〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2-3-1
- 文化事業課／TEL:054-203-5714
(施設予約:利用サービス課／TEL:054-203-5713)
- E-mail: info@granship.or.jp
- https://www.granship.or.jp

@GRANSHIP_ @granship.shizuoka

@granship

電車でお越しの場合

- JR東静岡駅南口隣接
- 東海道新幹線(ひかり)で東京から1時間、新大阪から2時間
JR静岡駅乗換、東海道本線で上り方面、JR東静岡駅まで3分
- 静岡鉄道長沼駅から徒歩10分



車で お越しの場合

- 東名高速道路／静岡I.C.から10分
／日本平久能山I.C.から10分
- 新東名高速道路／新静岡I.C.から15分
- 静清バイパス／千代田上土I.C.から10分

グランシップ 子どもアート体験! 学校プログラム

学校で実施

グランシップでは、「グランシップ 子どもアート体験! 学校プログラム」として、国内外の第一線で活躍するアーティストや、静岡ゆかりの音楽家と共に静岡県内の小中学校等に出向き、本物の文化芸術をお届けするアウトリーチ事業を実施しています。子どもの時から本物に触れる体験を通して豊かな感性や創造性を育み、新しい世界に触れるとともに、県民の皆様にも幅広くグランシップの活動や、グランシップの目指す「はじめての劇場しずおか」の取り組みを知っていただくために、2006年度より積極的に実施しています。

募集期間

毎年12月上旬～1月末

※募集要項は毎年この時期にホームページで公開しているほか、全学校にも郵送しております。

募集事業

1. 音楽 …… グランシップ登録アーティスト ミニコンサート
2. 伝統芸能 …… 「人形浄瑠璃 文楽」出前講座
3. 伝統芸能 …… 狂言ワークショップ
4. 伝統芸能 …… 六代目宝井馬琴監修 講談教室
5. 伝統芸能 …… 玉川奈々福の浪曲教室
6. 美術 …… アート⇄心のジャンプ 貼り絵ワークショップ

※1～6は令和5年度事業の内容です。詳細は、その年度の募集要項をご確認ください。

費用負担、役割分担について

グランシップ

出演者にかかる費用(出演料・交通費・宿泊費等)を負担します。

実施校

(準備いただくもの・負担など)

- 出演者とグランシップスタッフの控室、駐車場
- 出演者と随行スタッフ(出演者側のマネージャーや所属事務所スタッフ等)の昼食と控室内の湯茶等(1～10名程度、プログラムにより異なります。グランシップスタッフ分は不要です)
- ピアノ調律費(電子ピアノでは実施ができません)なお、より良い演奏環境で音楽を届けられるよう、できるだけ実施日の1か月以内の調律をお願いしています

その他

- 公演、ワークショップ終了後には、教職員・アーティスト・グランシップスタッフの三者による「交流会」を開きます。質問や意見交換等アーティストと直接対話出来る機会です
- 参加された児童生徒、教員の皆様にはアンケートのご協力をお願いしています
- プログラムによって文化施設等からの視察や報道機関の取材が入る場合があります

問合せ等

メール

info@granship.or.jp

FAX

054-203-5716

開催までの流れ

(令和5年度の場合)

申込書受取の連絡をグランシップ担当者からメールでお知らせします。

採択・不採択のいずれの場合も書面にて通知します。

グランシップスタッフが学校に伺います。担当窓口の先生ほか、参加学年の先生も可能な範囲でご同席をお願いします。

お申込み

1月31日まで

実施校決定

2月下旬

開催日調整

3月

事前打合せ

開催3～1ヶ月前

本番

※終了後、交流会

6月～翌年3月

1 グランシップ登録アーティスト ミニコンサート

音楽

静岡ゆかりの音楽家
「グランシップ登録アーティスト」による
45分間の参加型ミニコンサート

対象 小学4～6年生／特別支援学校の小中高生

特徴

- 演奏者はオーディションにより選ばれ、アウトリーチに関する研修を経たグランシップ登録アーティスト
- 少人数(クラス単位など)での実施により、参加者全員が間近に生演奏を体感
- アーティストも事前打ち合わせに参加し、実施校の実情に合わせたクラシックの楽曲を中心としたオリジナルのプログラムを作成

概要

所要時間	45分 (1校につき、午前・午後の2回まで実施可能)
場所	音楽室・多目的室・体育館 等
人数	1回につき最大60名程度まで(要相談)
出演	下記 A ～ D の 登録アーティストの中から選定 (学校からの希望を調整して決定)



令和4年度コンサートの様子

●グランシップ登録アーティスト (第1期／2022-2024年度登録) ※2023年4月現在

A	ALBOSTリオ (アルボストリオ) マリンバ／ピアノ パーカッション	マリンバ／望月恵(静岡市在住) ピアノ／久米涼子(吉田町出身) パーカッション／古川春美(静岡市在住) 豊かな響きを奏でる木琴マリンバ、種類豊富で迫力があるパーカッション、そして学校のピアノで、クラシックをメインに様々なジャンルの音楽をお届けします。それぞれの楽器の「魅力」が伝わるアンサンブルをお楽しみください。
B	Duologue (デュオローグ) フルート／ピアノ	フルート／大川美南(島田市在住) ピアノ／田中亜希子(島田市在住) グループ名のDuologueとは英語で「対話」という意味です。フルートとピアノの2つの楽器の対話、2人の対話、音との対話、皆さんとの対話を大切にしています。音楽を通じて心に寄り添えるような演奏を心がけます。
C	Trio WINGS (トリオウィングス) サクソフォン／ピアノ	サクソフォン／三浦玲太(函南町出身) 戸村愛美(沼津市出身) ピアノ／村上夢子(焼津市在住) サクソフォン×サクソフォン×ピアノによるアンサンブル。サクソフォンならではの柔軟性で、クラシックのみならず様々なジャンルの楽曲を演奏します。
D	ミナトニカ ピアノ／ヴァイオリン サクソフォン	ピアノ／金原麻美(浜松市在住) ヴァイオリン／西川奈穂(富士宮市在住) サクソフォン／池谷隼人(藤枝市在住) 2008年に静岡県出身の音楽家で結成。ヴァイオリン・サクソフォン・ピアノという性質の異なる楽器で、様々なジャンルの音楽を奏でます。

●参加者の声(実施校アンケートより)

楽譜も読めないし、音楽は好きではなかったけど、はじめて「すてきだな」と思いました。(小学生)

音楽が好きですが、音楽の授業には苦手意識があり自信をもってできません。だからこそ、今回のような本物に触れる機会がとてもありがたく思いました。(教員)

音は見えないけど、本当はそこにあると分かりました。(小学生)

いつもは発表しない生徒が自分から自分の言葉で感想を言えました。(特別支援学校教員)

知らない曲にも生徒が自分から体を動かして表現するなど楽しんでいました。(特別支援学校教員)

にんぎょうじょう り ぶん らく

2 「人形浄瑠璃 文楽」出前講座

伝統芸能

ユネスコ無形文化遺産であり、
日本が誇る「人形浄瑠璃 文楽」を
わかりやすく実演付きで解説&鑑賞

対象 小学5～6年生／中学生

特徴

- 文楽を構成する太夫(たゆう)・三味線・人形遣い(にんぎょうつかい)がそれぞれの役割や道具を解説
- 人形遣いの体験、文楽人気演目のミニ実演鑑賞(あらすじを紹介したプログラムを全員へ配布します)

概要

所要時間	90分程度
場 所	体育館
人 数	100名程度(最大300名程度まで可)
出 演	人形浄瑠璃 文楽座 ※出演者6名程度+随員スタッフ3名程度

● 文楽とは

江戸時代の大坂で生まれた、浄瑠璃という音楽と人形芝居が結びついた舞台芸術。物語を語る太夫、情景や心情を表現する三味線、3人で1体の人形を操る人形遣いの三業(さんぎょう)によって成立する世界に誇る伝統芸能。



● 参加者の声(実施校アンケートより)

うれしいときと悲しいときの三味線の音が全く違って驚きました。(小学生)

人生で人形遣いの体験をすることはなかったと思ったので、いい経験になりました。(中学生)

事前指導として文楽について触れたものの、実際に見たり聴いたりする中でより「そうだったのか」「すごい」という気持ちになりとても勉強になりました。交流会でもたくさん知ることができうれしかったです。(教員)

息を合わせて舞台を作るということに興味がありました。僕たちの世代が文楽の素晴らしさと伝統を伝えていく必要があると思いました。(中学生)

人形遣いが人形に命を吹き込むように表現していたのに感動して体がぞわぞわしました。(中学生)

学校で体験しなければ、一生知らずに終わる生徒も少なくないと思います。(教員)

3 グランシップ伝統芸能普及プログラム 狂言ワークショップ

～触れてみよう能楽師～

伝統芸能

6年生の国語の教科書で
扱われている狂言を、
狂言方自らが先生となり解説する特別授業

対象 小学6年生

特徴

- 狂言方が、実際に学校で使用している教科書を用いて能・狂言の歴史、能舞台のつくり等、狂言の基本を解説
- 狂言独自の言い回しや教科書に登場する動物の鳴き声の体験に加え、演者による実演(狂言「棒縛」)を通して狂言を学びます

概要

所要時間	90分程度
場 所	教室・体育館 等
人 数	30名～90名程度
出 演	和泉流狂言方・三宅右矩 ほか ※3名程度



● 参加者の声(実施校アンケートより)

小さな舞台と少ない道具で様々な状況を表現していて驚きました。(小学生)

室町時代からずっと続いていることがすごいと思いました。(小学生)

プロの生のパフォーマンスは、映像とはちがう迫力があり心に残ります。大変幸運だったと思います。(教員)

難しい言葉や分からない表現があっても、子どもたちが舞台上に引き込まれていた様子が印象的でした。(教員)

たからいばきん

こうだん

4 六代目宝井馬琴監修 講談教室

伝統芸能

日本の話芸・講談をみんなで声に出して体験!
講談を知る・体験する・聴く、参加型プログラム

対象 小学4～6年生

特徴

- 講談の歴史や他の話芸との違い、独特な表現、張扇(はりおうぎ)や釈台(しゃくだい)などの道具について講談の基本を実演を交えて解説
- 講談の様々なテキストに声を出してチャレンジ
講談ならではの表現や言葉の面白さを体感
- 静岡県出身の講談師、故・六代目宝井馬琴の一番弟子である宝井琴星による実演で、本物の講談を鑑賞

概要

所要時間	100分程度
場 所	教室・体育館 等
人 数	10名～160名程度(相談可)
出 演	宝井琴星(たからい きんせい) 宝井琴鶴(たからい きんかく)

下記内容は過去実施例です。最終的な内容は開催校との打合せにより決定します。

講談ってなに？

- 講談と落語の違い、使用する道具など講談の特徴を実演を交えて解説
- 講談の特徴的なリズムを手拍子で体感

チャレンジ!講談

- 様々なテキストを用いて講談に挑戦
- 全員で声を出すほか、張扇で釈台を叩きながら発表するなど様々な形態で講談を体験
- 学校のオリジナル講談を作成

本物の講談を聴こう!

- 徳川家康が登場するなど、分かりやすい演目でプロの講談をじっくりと鑑賞
※最後に質問コーナーを設けます

実施内容

● 講談とは

会話によって成り立つ落語に対して、講談は“話を読む芸”と言われる。単なる朗読ではなく、独特の抑揚のあるしゃべり調子で、張扇という道具で釈台をたたきながらリズムカルに語ります。



講談師

宝井 琴星

たからい きんせい

- 講談師
昭和22年、神奈川県横浜市生まれ
- 昭和48年 宝井馬琴門下入門
- 昭和54年 二ツ目昇進
- 昭和60年 真打昇進



● 参加者の声(実施校アンケートより)

すごく講談に興味がありました。張扇や扇子、手ぬぐいでいろんな表現ができてすごいと思いました。もっともっと講談を知って興味をもちたいし楽しいのでまたやってもらいたいです。(小学生)

実際に壇上へ上がって体験できたのが本当に楽しかったです。全く知らない世界でした。(小学生)

聞く、体験のプログラム構成が素晴らしかったです。(教員)

普段声の小さな児童も手を挙げて舞台上で読んでいた姿には驚きました。(教員)

日本語のすばらしさを感じました。講談師の先生の言葉と手さばきでの話し方がとても心地よかったです。(教員)

たまがわ な な ぶく ろうきょく

5 玉川奈々福の浪曲教室

伝統芸能

日本の話芸・浪曲の迫力を間近で体験!
三味線の生の音にも触れられます。

対象 小学5～6年生

特徴

- 浪曲について、他の伝統芸能と比較し、解説や実演を通してわかりやすく紹介
- 浪曲の節回しや掛け声を練習
実際に声に出して浪曲の面白さを体感

概要

所要時間	90分程度
場 所	教室・音楽室 等
人 数	20～60名程度
出 演	玉川奈々福／曲師1名

実施内容

解説

- 浪曲の歴史、成り立ち、特徴を紹介
- なぜ浪曲師を目指したのか、職業としての浪曲師についてのおはなし(キャリア教育の一環として好評を得ています)

実演

- 童話「シンデレラ」を題材にしたオリジナル浪曲を鑑賞

三味線解説

- 三味線の音の聞こえ方や構造を紹介

浪曲に挑戦!

- 浪曲の名乗りや掛け声を体験
- 浪曲独特の節回しやリズムを練習、三味線に合わせて発表

● 浪曲とは

落語は「話す」・講談は「読む」・浪曲は「語る」と言われ、浪曲は三味線の伴奏にのせて「節」と「啖呵」で物語を語る芸。節とは、登場人物の心情や場面を歌詞にして歌う部分で、啖呵は、登場人物を演じて台詞を話す部分。



浪曲師

玉川 奈々福

たまがわ ななぶく



神奈川県横浜市生まれ。平成7年に玉川福太郎に入門。師の勧めにより平成13年より浪曲師として活動開始。様々な浪曲イベントをプロデュースするほか、自作の新作浪曲も手がけ、多ジャンルの芸能・音楽との交流も多岐にわたって行う。これまで「グランシップ子どもアート体験」に出演していた浪曲師・故 国本武春の自称一番弟子として、浪曲を次代に継承するために積極的に活動している。

● 参加者の声(実施校アンケートより)

浪曲は昔のような感じもあるけれど、今のようでもあり不思議な感じだった。(小学生)

奈々福さんは声量がすごくて、聞いているとだんだんとワクワクしてきてすごく面白かった。(小学生)

浪曲はとても楽しく新しい世界に入れた感じがしました。(小学生)

「浪曲」という名前を一度も聞いたことがなくて、「どういう感じなんだろう」と思っていたけれど、聞いているうちにどんどん続きが気になって、終わったときは「もう終わりか」と感じた。(小学生)

奈々福さんの、子どもたちとのやりとりがとても素敵でした。(教員)

普段とても内気な子が進んで発表をしていたことに驚きました。その子にとって大きな自信になったようです。クラスの皆からもほめられ、自分自身で新しい自分に気づくことができたのではないかと思います。(教員)

6 アート⇔心のジャンプ 貼り絵ワークショップ

美術

1～2m四方の大きさの段ボールに様々な形や色のフェルトを自由に貼り、講師との対話を通して一人一人の表現を引き出します。

対象 特別支援学校中等部・高等部

特徴

- 作品の完成や技術向上を目的としないアプローチを大切に、アートを通して互いの魅力に気づきます
- 講師の問いかけから、それぞれの表現を引き出します

概要

所要時間	授業3コマ分(2時間目～4時間目)
場 所	体育館、または作業ができる広い教室
人 数	1クラス10～15名程度 (グループごとの参加は最大30名まで)
出 演	福井 揚 (現代アート作家)

アーティストの紹介

- 講師の紹介
- 福井揚さんの作品を近くで見る

材料に触ってみる

- 色とりどりのフェルトなど、貼り絵の材料に触って、自由に選ぶ

貼り絵に挑戦

- 様々な色や形の材料を、段ボールに自由に貼り付ける
- 創作途中の作品の角度を変えたり、他の作品を見ながら、アーティストとともに意見交換

完成作品を発表しあう

- グループまたは個人の作品を発表しあい、感想を共有する

実施内容



● 参加者の声(実施校アンケートより)

貼り絵とは、自分のインスピレーションと勇気で取り組むことだと分かりました。(生徒)

頭で考えるのではなく、感じたことを作品にすることができました。(生徒)

制作の途中で作品を見せ合うのも大変面白いと思い、今後の指導に生かしたい。(教員)

ワークショップ後の表情が、マスク越しでもとても良かった。(教員)

日頃から教員が生徒に構いすぎていると実感した。自然と影響し合っていた姿をみて、表現の授業を在り方を見つめたくくなりました。(教員)

福井先生の声かけが優しく、生徒たちが安心してのびのびと表現していました。(教員)

グランシップ主催公演 中高生鑑賞プラン

グランシップ等劇場で鑑賞

教員の引率による団体鑑賞で
チケット料金が特別価格に!

概要	静岡県内の中学生及び高校生を対象に、学校単位(クラス、部活動単位)のお申込みに限り、グランシップ主催公演を特別価格で鑑賞できる制度です。必ず先生の引率をお願いします。
対象公演	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームページでご確認ください (「グランシップ中高生鑑賞プラン」で検索) ● 特に中高生向けに毎年実施している公演 <ol style="list-style-type: none"> 1. 国立劇場歌舞伎鑑賞教室(6月開催) 2. グランシップ中高生のためのオーケストラ(11月開催)
料金	1公演・1生徒あたり800円(通常1,000円) 1グループ(クラスまたは部活等の単位)につき、引率の先生1人は無料。
申込方法	ホームページ掲載の申込書に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにてお申込みください。 最終締切日は、各公演の2週間前とします。 (チケットの販売状況によっては締切前に受付終了となる場合がございます)



交通費支援制度 中高生鑑賞プランを利用してグランシップ主催公演を鑑賞する際の交通費を支援します。

支援対象となる
交通手段

公共交通機関(電車、バス)／貸切バス
● 徒歩、自転車、自家用車は支援の対象となりません。

支援額

学校から公演会場までに生徒及び引率の教員が要した交通費

- 交通費は学校と公演場所の往復にかかるものを対象とします。
- 学校から公演場所までの直線距離が2km未満の学校については、対象外となります。
- JR利用の場合は原則として団体割引乗車券(学生団体)を支援金の対象とします。(8名以上対象)
ただし、規定人数に達しない場合や団券申込期限を過ぎている場合は、通常の料金を支援の対象とします。
- 新幹線は片道50km以上、特急は片道70km以上、座席は自由席のみ支援の対象とします。
- 貸切バス利用の場合は2社以上の見積りの中で金額が低い方を採用するものとします。(手配は学校側でお願いします)
- 貸切バスで公演会場の有料駐車場を利用した場合、駐車料金も支援の対象とします。

申請の流れ

申請書類ダウンロードはこちらから ▶

https://www.granship.or.jp/granship/for_kids/plan.html



1 中高生鑑賞プランの利用を、指定の申込書でメールまたはFAXで申し込む。

2 事務局からの予約確定の連絡の際に交通費支援制度利用希望の有無をお伝えください。

3 鑑賞予定の公演の前日までに、交通費支援制度申請書に必要事項を記入し、郵送にて御提出ください。(申請書は公演日前日必着)

4 利用者数の実績に基づき、支援額を確定。後日学校ご指定の口座に振り込みます。

お申込み
お問い合わせ

公益財団法人静岡県文化財団(グランシップ指定管理者)
文化事業課 〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
TEL/054-203-5714 FAX/054-203-5716 メール/info@granship.or.jp

1 国立劇場 歌舞伎鑑賞教室

ユネスコ無形文化遺産で、日本が世界に誇る伝統芸能のひとつ「歌舞伎」。グランシップでは、中学生や高校生にも気軽に生の舞台に触れていただく場として、「国立劇場 歌舞伎鑑賞教室」を毎年開催しています。学生のみなさんが本物の伝統芸能に触れ、日本文化を知り、自ら世界へ日本の文化を発信できるよう、ぜひ学校の芸術鑑賞の機会としてご活用ください。

公演内容

長時間で複数の演目が上演される一般的な歌舞伎とは異なり、前半にはわかりやすい解説と後半は歌舞伎の名作上演の2部構成で鑑賞するスタイルです。

※一般のお客様、他校の生徒の方々と一緒に鑑賞していただきますのでご了承ください。

● 第一部：「解説 歌舞伎のみかた」／30分程度

歌舞伎のイロハや第二部の演目の見どころをわかりやすく解説します。

● 第二部：「歌舞伎の鑑賞」／60～90分程度

はじめての鑑賞におすすめの名作、名場面などわかりやすい演目をお届けします。

令和4年度は
8校の中学校・高校から
1,150人が参加しました。

● 人気俳優が勢ぞろい!過去の上演演目

年度	第二部の演目	出演者
22	歌舞伎十八番の内 鳴神	片岡 孝太郎／片岡 愛之助 ほか
23	義経千本桜 河連法眼館の場	中村 翫雀／中村 壺太郎 ほか
24	平家女護島 俊寛 鬼界ヶ島の場	中村 橋之助 ほか
25	新歌舞伎十八番の内 紅葉狩	中村 翫雀／中村 錦之助 ほか
26	ぢいさんばあさん	中村 翫雀／中村 橋之助 ほか
27	壺坂壺験記	片岡 孝太郎／坂東 亀三郎 ほか
28	新皿屋舗月雨暈 -魚屋宗五郎-	中村 橋之助 ほか
29	歌舞伎十八番の内 毛抜	中村 錦之助／片岡 孝太郎 ほか
30	連獅子	中村 又五郎／中村 歌昇 ほか
R1	神霊矢口渡 頓兵衛住家の場	中村 鷹治郎／中村 壺太郎 ほか
R4	彦山権現誓助剣 -毛谷村-	中村 又五郎／片岡 孝太郎 ほか

● 学校での学習にも活用できます

当日

はじめての鑑賞を音声でサポート!イヤホンガイド

舞台の進行に合わせて、あらすじや歌舞伎ならではの約束事を音声で解説。※希望する学校のみ、有料での貸出です。

(チケット代とは別/備イヤホンガイドと直接契約していただきます)

事前・事後

鑑賞をより深める!歌舞伎読本・公演プログラム

歌舞伎の歴史などが掲載されている読本と、出演者のメッセージやあらすじがまとめられたプログラムを来場者全員へ無料配布。

※希望があれば事前の配布も可能(完成は公演日直前です)



過去の公演の様子

● 参加者の声(終了後アンケートより)

交通費支援制度は遠方からの学校にはとてもうれしい制度です。(先生)

伝統芸能を鑑賞する機会をもっと生徒たちに与えてあげたいと感じました。今回の歌舞伎鑑賞教室は我々教員にとっても価値あるものでした。(先生)

歌舞伎は自分が思っていたよりもかっこよく素敵だった。役を演じている人のメイクがとても素敵だったし、もっと歌舞伎について知りたかった。(生徒)

本格的な劇場で鑑賞のマナーや醍醐味を体験できる機会はなかなかないので続けてほしい。(先生)

全く歌舞伎の知識がなく、楽しめる自信がなかったが、公演前の丁寧かつ楽しい解説や、華々しくかっこいい舞にすごく感激した。(生徒)

2 グランシップ中高生のためのオーケストラ

グランシップでは、県内の中学生に本格的なオーケストラコンサートを毎年お届けしていきます。令和2年度より県内東部・中部・西部を1年ごとに巡回する出前公演をはじめ、令和5年度から対象を広げ、高校生の皆さんもご参加いただけるようになりました。

本事業では、クラシックの曲をまるごと聴く機会が少ない学生の皆さんに向けて、毎年交響曲や管弦楽曲といった大曲を取り上げ、国内の一流オーケストラの本物の音に触れていただく貴重な機会となっています。指揮者もオーケストラも、学生の皆さんに必ず何かを感じてもらえるように全力で演奏に臨みます。ぜひご期待ください!

●過去の公演プログラム

年度	指揮	管弦楽	曲名	会場
22	広上 淳一	京都市交響楽団	グリムカ/歌劇「ルスランとリユドミラ」序曲 ブラームス/交響曲第1番	グランシップ 中ホール・大地
23	川瀬 賢太郎	日本フィルハーモニー交響楽団	チャイコフスキー/歌劇「エフゲニー・オネーギン」からポロネーズ 交響曲第5番	グランシップ 中ホール・大地
24	大植 英次	大阪フィルハーモニー交響楽団	グリムカ/歌劇「ルスランとリユドミラ」序曲 シェスタコヴィチ/交響曲第5番	グランシップ 中ホール・大地
25	飯森 範親	東京交響楽団	ハイドン/交響曲第94番「驚愕」第2楽章 ベートーヴェン/交響曲第5番	グランシップ 中ホール・大地
26	三ツ橋 敬子	新日本フィルハーモニー交響楽団	フンパーディンク/歌劇「ヘンゼルとグレーテル」序曲 ムソルグスキー(ラヴェル編曲)/組曲「展覧会の絵」	グランシップ 中ホール・大地
27	川瀬 賢太郎	神奈川フィルハーモニー管弦楽団	ハイドン/交響曲第45番「告別」 メンデルスゾーン/交響曲第4番「イタリア」	グランシップ 中ホール・大地
28	円光寺 雅彦	名古屋フィルハーモニー管弦楽団	ラヴェル/ピアノ協奏曲 ト短調 (ピアノ/菊地裕介) チャイコフスキー/幻想的序曲「ロミオとジュリエット」	グランシップ 中ホール・大地
29	井上 道義	大阪フィルハーモニー交響楽団	ビゼー/組曲「子供の遊び」 プロコフィエフ/バレエ音楽「シンデレラ」セレクション	グランシップ 中ホール・大地
30	松村 秀明	神奈川フィルハーモニー管弦楽団	メンデルスゾーン/「夏の夜の夢」序曲 ドヴォルザーク/交響曲第9番「新世界より」	グランシップ 中ホール・大地
R1	本名 徹次	静岡交響楽団	ベートーヴェン/「エグモント」序曲 ドヴォルザーク/交響曲第8番	グランシップ 中ホール・大地
R2	角田 鋼亮	オーケストラ・アンサンブル金沢	ドビュッシー/小組曲 モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」序曲 交響曲第41番	三島市民文化会館 大ホール
R3	ジョン・ アクセルロッド	京都市交響楽団	チャイコフスキー/歌劇「エフゲニー・オネーギン」からポロネーズ 交響曲第4番	菊川文化会館 大ホール
R4	角田 鋼亮	オーケストラ・アンサンブル金沢	ドビュッシー/小組曲 モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」序曲 交響曲第41番	三島市民文化会館 大ホール

※R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。R4年度に同じ出演者・プログラムで実施。

●コンサートをより楽しむためのパンフレット

楽曲の背景や聴きどころについてのわかりやすい解説や楽器紹介が掲載されたパンフレットを公演当日に無料配布します。



令和4年度の様子

▼令和4年度パンフレットより一部抜粋



●参加者の声(令和3年度アンケートより)

スマホで聴くのととは違ってどの音も目立っていた。高音はスマホの何倍も透き通っていて気持ち良く、低音もしっかりひびき、客席で音の震動を体を感じるほど迫力があつた。やっぱり生で演奏を聴くのがいいなと感じた。(生徒)

聴いている時間が魔法で消えたかと思うほど、一瞬の出来事のようなだった。一人一人の音が力強く、手に持つ紙が震えるのを感じるくらいすごかった。(生徒)

オーケストラのコンサートは学校行事以外でほとんどの生徒が見たことがなく(クラス29人中27人)、間近で見て、その迫力と音色に圧倒されたようだった。生徒たちにとってとても良い経験になった。(先生)

静岡県高校生アートラリー

概要

静岡県の高校生が、本物の文化芸術に触れる機会に出合えるために、グランシップと県内の公立文化施設が協力し、実施している静岡県高校生アートラリー。

「高校生にこそ、本物の文化芸術やアートにたくさん触れて、色々な世界を知ってほしい。」ホールや劇場で働く私たちは、そう願っています。

対象公演を鑑賞し、ポイントを集めたらチケットをプレゼント。ぜひ、身近な施設でアートを体感してください。

- 1 県内の公立文化施設で行われる公演を掲載したパンフレットを新学期に配布します。
- 2 対象公演に来場するごとに1ポイントを贈呈。集めたポイントは高校在学中有効です。
- 3 3ポイントためると、高校生本人とご家族の2人で希望の対象公演を鑑賞できる「ファミリーチケット」をプレゼント!

P

ポイントの集め方(方法は2つ)



LINEで集める



LINE公式アカウント
「静岡県高校生アートラリー」を
友だち登録。

LINE QRコード▶



ポイント対象公演に来場し、
会場内のQRコードを
読み取ってポイントを獲得。



パンフレットで集める

アートラリーパンフレットを
ポイント対象公演の鑑賞時に持参する



会場内にある
スタンプを下記に押す。



特典応募

- ポイントの集め方によってLINEトーク、またはどちらの場合でも、メール、電話のいずれかで申込みできます。
- ポイント対象公演と「ファミリーチケット」対象公演、詳しい応募方法は、グランシップホームページでご確認ください。

静岡県高校生アートラリーに関する問合せ・「ファミリーチケット」特典申込先

グランシップ内「静岡県高校生アートラリー」係

● E-mail : info@granship.or.jp ● TEL:054-203-5714



オーケストラが県内各地の学校等を訪問し、多様な音楽プログラムを実施します。

学校等で行う音楽鑑賞のほか、学校等の希望により、

- 鑑賞講座／指揮者体験／演奏体験
- 部活動指導、合同演奏
- 地域住民への鑑賞機会の提供 等

ご案内

- 演奏形態は、オーケストラ又は室内楽です。
- プログラムの実施時間は、1時限～2時限(45分～100分)を目安とします。
- 会場設営及びリハーサルは、原則としてプログラム当日に行います。
- 鑑賞講座等については、必要に応じ、プログラム実施日以外でも実施します。
- 部活動指導や合同演奏は、当該プログラムに付随して行うものに限ります。
- 学校等の希望により、保護者や地域の方も鑑賞いただけます。(保護者等への周知は学校等で行ってください。)



実施会場

実施対象となる**学校施設等**

※複数の学校が合同で実施する場合や全校児童・生徒を収容できる施設がない場合等は、**学校等が確保(費用負担を含む。)**する県内公立文化施設等でも実施します。

実施主体

県内に活動拠点を置く
プロフェッショナル・オーケストラ

実施回数

20回程度／年

実施対象

県内の小学校／中学校／高等学校／
義務教育学校／特別支援学校
※国及び政令指定都市が所管する学校を除く。

経費

無料

※県内公立文化施設等で行う場合は、会場使用料等は学校等で負担してください。
※学校施設以外で行う場合に発生する児童・生徒等の交通費も、学校等で負担してください。

申込方法

- プログラムの応募にかかる情報は、毎年1月頃に各校にお知らせしています。

提出期限

毎年1月末頃

提出先

校 種	提出先
公立小／中学校	市町教育委員会所管課
県立高等学校	県教育委員会高校教育課
県立特別支援学校	県教育委員会特別支援教育課
上記以外(私立学校／市立高等学校)	事務局(静岡県文化財団)

※提出ルートは今後変更する場合もあります。

問合せ先

静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化政策課

- 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
- TEL: 054-221-2252
- E-mail: arts@pref.shizuoka.lg.jp

公益財団法人静岡県文化財団文化事業課

- 〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号
- TEL: 054-203-5714
- E-mail: info@granship.or.jp

静岡国際オペラコンクール 「中学生・高校生オペラ鑑賞教室事業」

PROGRAM 08

ご案内

「中学生・高校生オペラ鑑賞教室事業」は、静岡国際オペラコンクール実行委員会(以下「実行委員会」という)が、オペラ歌手を県内の中学校・高等学校・特別支援学校に派遣し、生徒にオペラを鑑賞する機会を提供する事業です。この教室を体験することで、本物に触れた感動を味わうとともに、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育て、豊かな情操を培うことを目的とし実施しています。

※コンクール実施年度(3年毎)、コンクール本番(10月下旬～11月上旬)の鑑賞機会を提供・支援する事業として実施予定。



概要

日程

6～12月中

内容

オペラ歌手によるアリアや重唱、オペラの1シーンなどの演奏

派遣先

静岡県内の国立・公立・私立の中学校・高等学校及び、特別支援学校中学部・高等部において、上記期間内で3校程度を予定

派遣者

県内のオペラ団体に所属している歌手・ピアニストを予定

会場・時間

- 各学校に訪問して実施しますので、換気ができ、距離をとって鑑賞できる会場を御用意ください。
- 時間は御希望に沿いますが、1授業単位から2授業単位を超えない範囲でお考えください。

会場例

- 体育館や講堂等歌唱に適した室内、公共のホール等(ホール借用の場合の使用料等は負担しません)
- 音楽室等

※ピアノが必要となります(調律の費用は、負担いたしません)。会場のレイアウト(いすや機の準備等)は各校において実施してください。その他の準備物は、実施決定後に御連絡いたします。

費用負担

派遣に伴う報償金及び旅費は実行委員会が負担するため、学校の負担はありません。

その他

- 新型コロナウイルス感染防止には、充分配慮して訪問いたします。また、県の警戒レベルや周辺市町の感染状況により、開催が中止される可能性があることを予め御了承ください。
- 鑑賞後、オペラ歌手等による助言が必要な場合がありましたら、決定後に御相談ください。

申込先

所定の申込書により、期日(毎年1月頃)までに実行委員会事務局にご提出ください。

決定

毎年3校程度を予定しています。申込み多数の場合には、選定結果により採択されない場合があります。

報告書等

鑑賞後1ヶ月以内に、報告書とアンケートを実行委員会事務局にご提出ください。アンケートは学校で鑑賞したすべての教員及び生徒等を対象に実施していただけます。

問合せ先

静岡国際オペラコンクール実行委員会事務局

- 〒430-8533 浜松市中区中央 2-1-1(静岡文化芸術大学内)
- TEL:053-457-6446 ●FAX:053-457-6447
- E-mail:opera@suac.ac.jp ●https://www.suac.ac.jp/opera/

ご案内

県文化振興基本計画における重点施策「文化芸術に触れる機会の拡充と人材育成の促進」に基づき、第一線で活躍するアーティスト等との交流を通じ、優れた文化芸術に出会い身近に親しむ機会を提供するため、県内の**小・中学生を対象とした個人参加の体験・創造講座**を実施しています。



● 講座の概要

区分	特別講座	公募型講座
概要	実行委員会が企画・実施	県内の文化活動団体や市町等から企画を募集し、実行委員会が選定
特長	三枝成彰学長が中心となって調整し、各界一流のアーティスト等を講師として招聘	地域の文化資源を活用した内容とするなど、実施団体の創意工夫を生かして実施
日程	7～8月	7～11月
会場	県内3会場 (静岡市／浜松市／沼津市)	県内各地
分野／講師	各分野の第一線で活躍するアーティストやクリエイター等 ●ピアノ／横山幸雄氏 ●ゲーム／増田順一氏 ●製菓／鎧塚俊彦氏 ●指揮／三ツ橋敬子氏 ●イラスト／わたせせいぞう氏 など	演劇／美術／工芸／舞踊／伝統芸能等の各分野
対象	県内在住在学の小・中学生	
参加申込み	毎年5月中旬頃から県内小・中学校へ配布するチラシ、ホームページ等で募集、参加者個人で申込み	

お申込み 問合せ先

ふじのくに子ども芸術大学実行委員会事務局

- 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6 静岡県文化政策課内
- TEL: 054-221-2252
- FAX: 054-221-2827
- E-mail: arts@pref.shizuoka.lg.jp
- ホームページ: <https://www.fkac.jp/>

▼HPで検索

ふじのくに子ども芸術大学 検索

ふじのくに芸術祭

ご案内

「ふじのくに芸術祭」は、広く県民に芸術作品の発表や鑑賞をする機会を提供し、県民自ら行う文化活動を支え、静岡県の文化向上発展を図ることを目的として開催しています。

下表では、応募資格が小中高生以上の部門をご紹介します。

詳しくは、毎年5月頃に専用WEBサイトで公開する募集要項をご確認願います。

事業名	応募資格	種別	募集時期	展覧会会期 会場(R5参考)	作品集
美術展	高校生以上	平面(油彩画、日本画、水彩画、版画、デザイン、工芸) 立体(デザイン、工芸、彫刻、造形)	6月～10月頃	11月～12月頃 グランシップ	入賞作品は 「優秀作品集」 に掲載し、 入賞者全員に 配布
写真展		単写真または組写真 スマートフォンでの撮影写真可		11月頃 県立美術館	
書道展		漢字、かな、調和体、近代詩文、少字数、 篆刻、刻字、前衛		9～10月頃 フリエート浜松	
事業名	応募資格	種別	募集時期	作品集	
文芸コンクール	高校生以上	小説、児童文学、評論、随筆、戯曲・シナリオ、 詩、短歌、俳句、川柳	6月～9月頃	入賞・入選作品は 「県民文芸」に掲載し、 応募者全員に配布	
高校生短歌・俳句・ 川柳コンクール	高校生以上 (19歳未満)	短歌・俳句・川柳			
事業名	応募資格	種別	募集時期	コンクール開催時期	
合唱コンクール	年齢制限 なし	<ul style="list-style-type: none"> ● ジュニア(9名以上で中学生以下の団体) ● アンサンブル(3～8名、その他の条件は不問) ● 一般(9名以上、その他の条件は不問) 	7月～9月頃	11月頃 会場(R5参考)グランシップ	

お申込み 問合せ先

ふじのくに芸術祭事務局(静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化政策課／静岡県文化協会)

- 〒420-8601 静岡県葵区追手町9-6
- TEL: 054-221-2254 ● FAX: 054-221-2827
- E-mail: arts@pref.shizuoka.lg.jp

▼HPで検索

ふじのくに芸術祭

🔍 検索

静岡県障害者芸術祭

ご案内

県内の障害のある人による絵画、工芸、書道などの作品を募集しての展覧会を県内3カ所で開催しています。

毎年、特別支援学校・学級からも多くのご応募をいただいております。出品料は無料です。

詳細は専用Webサイトで公開する募集要項をご確認ください。

応募資格	応募方法	募集時期	展覧会会期
障害のある人 (個人またはグループ)	公式サイト上の 申込フォームにて 応募(予定)	秋～冬頃 <参考(令和4年度)> <ul style="list-style-type: none"> ● 西部会場 R4.9.30～10.14 ● 中部会場 R4.10.17～11.18 ● 東部会場 R4.12.5～R5.1.13 	秋～冬頃 <参考(令和4年度)> <ul style="list-style-type: none"> ● 西部会場 R4.10.29～11.6 ● 中部会場 R4.12.14～12.18 ● 東部会場 R5.2.10～2.12

お申込み 問合せ先

静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化政策課

- 〒420-8601 静岡県葵区追手町9-6
- TEL: 054-221-3109 ● FAX: 054-221-2827
- E-mail: arts@pref.shizuoka.lg.jp

▼HPで検索

静岡県障害者芸術祭

🔍 検索

ふじのくに文化教育プログラム／学校等団体向け

実施機関	事業名	事業の概要	実施時期	対象				問合せ先 (電話番号)	参照ページ
				小学生	中学生	高校生	特別支援		
各文化施設	学校等団体 教育旅行受入 ●スタッフによる施設案内 ●児童・生徒の観覧料無料 ●引率教員観覧料の減免 ※施設によって対応の有無が異なります	<静岡県立美術館(静岡市)> クイズを交えた彫刻鑑賞、展示の工夫や作品保護など施設の裏側を学ぶ見学など	通年	○	○	○	○	県立美術館企画総務課 (054-263-5755)	P.16
		<ふじのくに地球環境史ミュージアム(静岡市)> 「自由見学」、「マイ・ミュージアムノート」、「ガイドツアー」を利用した学校団体受け入れ	通年	○	○	○	○	ふじのくに地球環境史ミュージアム (054-260-7111)	P.10
		<静岡県富士山世界遺産センター(富士宮市)> クイズシートやワークシートにより、世界文化遺産である富士山について学ぶ機会を提供	通年	○	○	○	○	静岡県富士山世界遺産センター (0544-21-3776)	P.22
		<静岡県埋蔵文化財センター(静岡市)> 文化財を用いた体験活動(本物の土器に触れての土器分類や火起こしなど)を通じて、歴史や文化財に対する興味を喚起	毎週火・木	○	○	○	○	静岡県埋蔵文化財センター (054-385-5500)	P.27
静岡県文化政策課	ふじのくに芸術祭合唱コンクール	合唱団を対象としたコンクールジュニア部門(中学生以下)有	募集:7月~9月頃	○	○	○	○	県文化政策課 文化振興班 (054-221-2254)	P.43
	静岡県障害者芸術祭	障害のある人の公募作品展やワークショップ等を実施(個人参加可)	募集:秋~冬頃				○	県文化政策課 文化振興班 (054-221-3109)	P.43
	中学生オペラ鑑賞教室事業	県内の中学・高校・特別支援学校に、県内オペラ団体所属歌手・ピアニストを派遣して、オペラ鑑賞機会を提供	6月~12月中		○	○	○	静岡国際オペラコンクール実行委員会事務局 (053-457-6446)	P.41
	子どもが文化と出会う機会創出事業(音楽)	子どもの頃から多様な文化に出会い、体験する機会の拡大を図るため、県内プロオーケストラが、小中高校等を訪問して、音楽プログラム(コンサート等)を実施	5月~2月	○	○	○	○	県文化政策課 文化政策班 (054-221-2252)	P.40
SPAC 静岡県舞台芸術センター	中学生舞台芸術鑑賞事業 SPACeSHIPげきとも!	中学生を対象とした舞台芸術鑑賞事業	10月~3月頃		○	○	○	SPAC事務局 (054-203-5735)	P.5
	ひらけ!パフォーマンスアーツの とびら	SPACの俳優・スタッフが県内の学校を訪れ、上演やワークショップを実施	通年	○	○	○	○	SPAC制作部 (054-203-5730)	
	SPAC1日演劇学校(演劇部員対象)	中学・高校演劇部員を対象に、他校の生徒と交流しながら、SPACの俳優と一緒に舞台の奥深さに迫る講座	2月頃		○	○			P.6
	放課後えんげき教室	小学生の子どもが過ごす「放課後こども教室」や「放課後児童クラブ」にて、子どもたちの活動の充実を図る目的で、演劇の上演やワークショップを実施	6月~翌年3月頃	○			○		P.6
	YouTube教科書朗読	県内の小中高校で使用されている国語の教科書の掲載作品をSPAC俳優が朗読	通年	○	○	○	○		
	てあととてをとる	年齢や障がいのあるなしに関わらず、全ての人に「えんげき体験」をお届けする音楽劇	6月~翌3月頃	○	○	○	○		P.9
ふじのくに地球環境史ミュージアム	ミュージアムキャラバン	県内小・中学校に設置する出張展示	通年	○	○		○	ふじのくに地球環境史ミュージアム (054-260-7111)	P.15
静岡県立美術館	オンライン鑑賞教育プログラム	小中学校がオンラインで実施可能な鑑賞教育のプログラム	通年	○	○			県立美術館学芸課 (054-263-5857)	P.16
	美術館教室	幼稚園・保育園の園児、学校の児童、生徒を対象とした教育普及プログラム。実技や鑑賞、総合的な学習の時間における取組など、美術館で実施できる様々な学習活動を、スタッフがお手伝いするもの。ねんど教室、えのぐ教室、出張美術講座など。	通年	○	○	○	○		
静岡県立富士山世界遺産センター	出前講座	講師を派遣し、富士山の自然や文化、世界文化遺産富士山についての基礎的な内容について学習できる講座。オンラインでの実施にも対応。	通年	○	○	○	○	静岡県富士山世界遺産センター (0544-21-3776)	P.25
静岡県埋蔵文化財センター	体験授業 出前授業	体験授業にお越しいただけない場合は、出前による体験授業(土器分類や火起こしなど)	毎週火・木	○	○	○	○	静岡県埋蔵文化財センター (054-385-5500)	P.28
グランシップ	グランシップ子どもアート体験! 学校プログラム	小中(特支含む)学校等を訪問して行うミニコンサート、伝統芸能教室	通年	○	○		○	県文化財団文化事業課 (054-204-5714)	P.30
	グランシップ主催公演 中学生鑑賞プラン	中学生・高校生を対象に、クラスや部活動単位で、グランシップ主催公演を1公演800円/人(通常1,000円)で鑑賞で可能、交通費支援制度有り	通年		○	○			P.36

ふじのくに文化教育プログラム／個人向け

実施機関	事業名	事業の概要	実施時期	対象				問合せ先 (電話番号)	参照ページ
				小学生	中学生	高校生	特別支援		
SPAC 静岡県舞台芸術センター	SPAC演劇アカデミー	〈世界で活躍できる演劇人〉を目指す若者の感性を育むことを目的とした高校生対象の1年制の演劇塾	通年			○		SPAC制作部 (054-203-5730)	P.7
	異才・天才・奇才 SPAC子ども大会	小学生を対象として、歌唱、舞踊、演奏、その他様々な特技を発揮する「子ども大会」	3月頃	○			○		P.8
	SPACシアタースクール	演劇の魅力を身体づくりから発表会を通じてより深く体験することを目的として、夏休み期間に実施	7月～8月頃		○	○	○		
	スパカンファンプラス [SPAC-ENFANTS-PLUS]	フランスを拠点に国際的な活動を展開する振付家を迎え、中高生と55歳以上のダンサーによる、世代をつなぐ新たなダンスプロジェクト	7月下旬～8月頃		○	○			
	ずばっくおやこ小学校	参加する親と子が同級生、SPAC俳優や様々な専門家が先生を演じる親子教室	6月～7月頃	○					P.9
ふじのくに地球環境史ミュージアム	ふじミュ-GWのイベント	GW期間に幼児・小・中・一般向けの自然科学系のイベント・講演会	4月下旬～5月上旬	○	○	○	○	ふじのくに 地球環境史ミュージアム (054-260-7111)	P.10
	ふじミュ-夏のイベント	夏期休業期間に幼児・小・中・一般向けの自然科学系のイベント・講演会	7月下旬～8月下旬	○	○	○	○		
	ふじミュ-秋のイベント	シルバーウィーク付近に幼児・小・中・一般向けの自然科学系のイベント・講演会	10月下旬～11月上旬	○	○	○	○		
	ふじミュ-冬のイベント	冬季休業期間に幼児・小・中・一般向けの自然科学系のイベント・講演会	12月中旬～1月上旬	○	○	○	○		
	富士山の日特別イベント	富士山の日に幼児・小・中・一般向けの自然科学系のイベント・講演会	2月23日	○	○	○	○		
	ふじミュ-春のイベント	春季休業期間に幼児・小・中・一般向けの自然科学系のイベント・講演会	3月中旬～4月上旬	○	○	○	○		
	写真コンテスト・写真展	「しずおかに育まれる生命(いのち)」をテーマにした写真作品の公募展高校生以下を対象としたジュニア部門あり	募集:7月頃 展示:9月～11月頃	○	○	○	○		
	ミュージアムでまなぶ 自然科学教室	先進的なプログラムを学びたい方向け 年中～小2と小3～6年の2コース	募集:4月～5月 実施:通年	○			○		
	オムニバス"地球環境史学"	最先端の研究成果を伝えるオムニバス授業	通年	○	○	○	○		
	連続講座"天地に在りて、 道を究める"	文化・芸術・スポーツなどの第一人者のトークショー	通年	○	○	○	○		
静岡県 富士山世界遺産センター	公開講座	センターで、富士山の自然や文化、世界文化遺産富士山についての基礎的な内容について学習する講座。	毎月1回程度 具体的な日程は センターHPに掲載	○	○	○	○	静岡県富士山世界遺産センター (0544-21-3776)	P.26
	ファミリーイベント	富士山の自然や文化、世界文化遺産富士山について楽しく学習していただくために、来館した子どもや子ども連れのご家族向けに、クイズシートを配布し、クイズラリー。	ゴールデンウィーク、 夏休み、 お正月など	○	○	○	○		

ふじのくに文化教育プログラム／個人向け

実施機関	事業名	事業の概要	実施時期	対象				問合せ先 (電話番号)	参照ページ
				小学生	中学生	高校生	特別支援		
静岡県埋蔵文化センター	フェスタ埋文	県民の日に、主に小学生以下の児童を対象に火起こしや勾玉作りなどの体験を行うイベント	8月頃	○	○	○	○	静岡県埋蔵文化財センター (054-385-5500)	P.28
グランシップ	高校生アートラリー	県内の文化施設と連携し、県内各地のホールや劇場で行われる対象公演に会場ごとに1ポイントがつき、3ポイントためると、「ファミリーチケット」(ペアチケット)をもらえなくプレゼント	通年			○		県文化財団事業課 (054-204-5714)	P.39
静岡県文化政策課	ふじのくに子ども芸術大学	第一線で活躍するアーティスト等との交流を通じ、優れた文化芸術に出会い身近に親しむ体験・創造講座	7月～11月	○	○			ふじのくに子ども芸術大学 実行委員会(県文化政策課) (054-221-2252)	P.42
	ふじのくに芸術祭 美術部門 (美術展・書道展・写真展)	15歳以上(中学生除く)対象の公募展	募集:6月～10月頃			○	○	県文化政策課文化振興班 (054-221-2254)	P.43
	ふじのくに芸術祭 文芸コンクール	15歳以上(中学生除く)対象の文芸コンクール(散文・韻文、計9種目)	募集:6月～9月頃			○	○		
	ふじのくに芸術祭 高校生短歌・俳句・ 川柳コンクール	高校生対象の短歌・俳句・川柳コンクール	募集:6月～9月頃			○	○		
	伊豆文学賞	静岡県内を題材・素材にした文学作品を全国から募集	募集:5月～9月末	○	○	○	○		



発行 静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化政策課
〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6
TEL/054-221-2252 FAX/054-221-2827
E-mail/arts@pref.shizuoka.lg.jp

発行日 令和5年3月